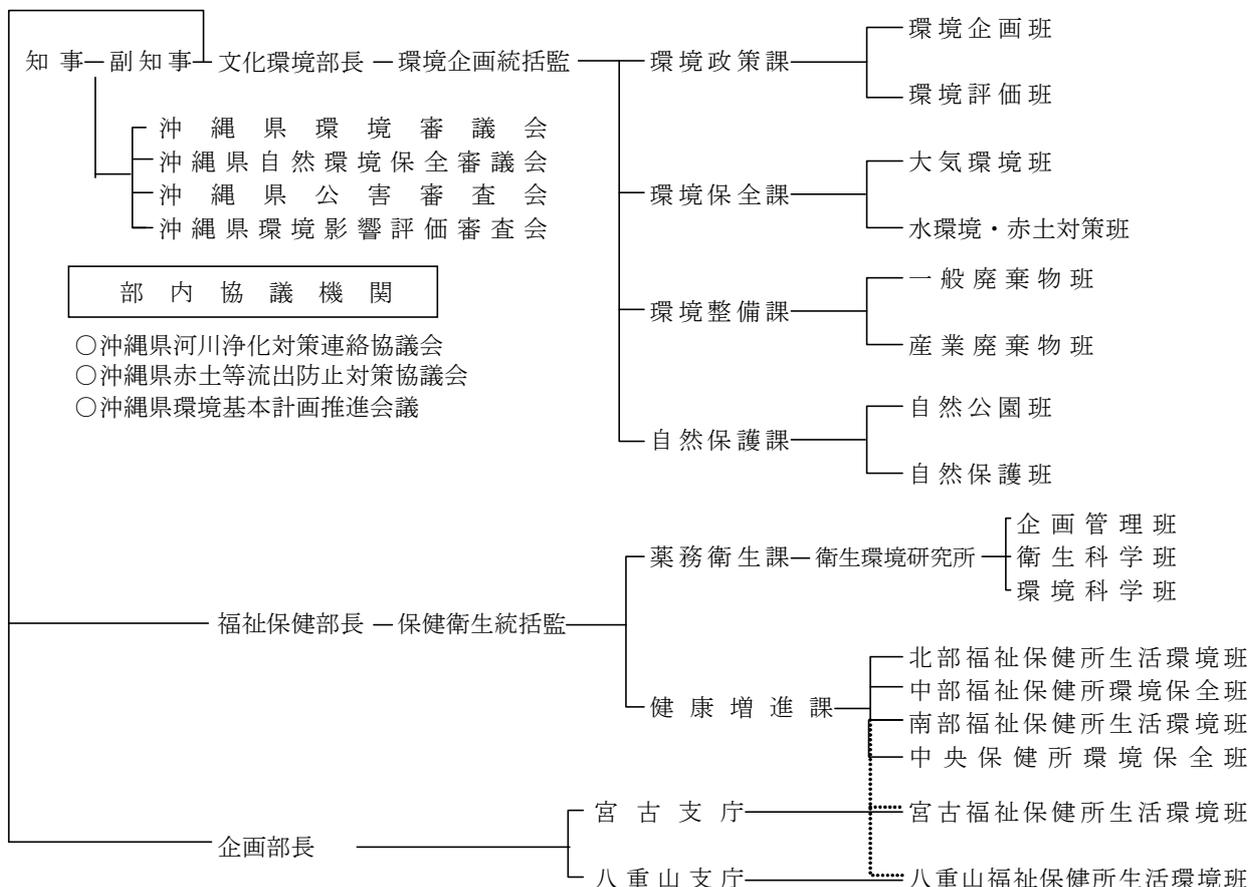


# 1 環境行政全般

## (1) 環境行政のあゆみ

- 昭和47年 5月15日 本土復帰 本県の行政組織は1室6部3局61課8室で構成
- 昭和48年 4月 企画部に環境保全室を新設。同室において公害行政の総合企画及び調整並びに自然保護行政を所管。公害の監視指導については厚生部環境衛生課(公害係)が所管。
- 昭和49年 4月 環境保健部を設置。企画部環境保全室と厚生部環境衛生課(公害係)を廃止し、新設された環境保健部に環境保全課、公害規制課、自然保護課を設置。
- 昭和50年 4月 環境整備課の新設。環境保全課と公害規制課を統合して公害対策課に改称。
- 昭和58年 4月 環境整備課が廃止。環境整備課環境整備係は公害対策課に移管。
- 昭和60年 4月 環境整備係を環境衛生課へ移管。
- 平成5年 4月 公害対策課を環境保全課へ、環境衛生課を生活衛生課へ改称。
- 平成8年 4月 環境保全課を環境保全室へ改称。
- 平成10年 4月 環境保健部を福祉保健部と文化環境部へ再編。福祉保健部には薬務衛生課、文化環境部には環境保全室、自然保護課及び廃棄物対策課を設置。
- 平成13年 4月 環境保全室を環境政策課と環境保全課へ改組。廃棄物対策課を環境整備課へ改称。

## (2) 環境保全に係る行政組織 (平成20年4月1日現在)



### (3) 環境関係各種審議会

#### ア 沖縄県環境審議会

沖縄県環境審議会は、県における公害対策に関する基本的事項を調査審議するため、環境基本法（平成5年法律第91号）第43条第2項及び沖縄県環境審議会条例（昭和47年条例第103号）に基づき設置されています。

委員は、学識経験者5名、公益代表者3名、住民代表者2名、産業界代表者3名及び行政関係者2名の計15名が選任されています。

#### イ 沖縄県自然環境保全審議会

沖縄県自然環境保全審議会は、自然環境保全法（昭和47年法律第85号）第51条及び沖縄県自然環境保全審議会条例（昭和48年沖縄県条例第55号）に基づき設置されています。審議事項は、自然公園法、鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律、温泉法、沖縄県自然環境保全条例、沖縄県自然公園条例の規定によりその権限に属せられた事項及び自然環境の保全に関する重要事項です。審議会組織は、学識経験者及び住民代表からなる15名の委員で構成し、自然環境・鳥獣部会、自然公園・温泉部会の2各部会があります。

#### ウ 沖縄県公害審査会

沖縄県公害審査会は、公害に係る紛争の迅速かつ適切な解決を図るため、公害紛争処理法（昭和45年法律第108条）及び沖縄県付属機関設置条例（昭和47年条例第50条）に基づき、昭和47年5月15日に設置されています。

現在、委員は弁護士3人、大学教授等6人、医師1人、薬剤師1人、保健師1人の計12人が任命されており、任期は3年となっています。

#### エ 沖縄県環境影響評価審査会

沖縄県環境影響評価審査会は、環境影響評価及び事後調査に関する技術的な事項を調査審議するため、沖縄県環境影響評価条例（平成12年沖縄県条例77号）第51条に基づき設置されています。その組織及び運営に関し必要な事項は同条例及び沖縄県環境影響評価条例施行規則（平成13年沖縄県規則第87号）で定めております。

委員は、学識経験者のうちから13名以内で構成し任期は3年となっています。

沖縄県環境審議会委員名簿

任期（平成19年9月14日～平成21年9月13日）

役職	氏名	現職（専門分野等）	区分
1	安里成一 あさと せいいち	沖縄県産業廃棄物協会 会長	産業界代表者
2	時枝俊次郎 ときえ しゆんじろう	第十一管区海上保安本部 次長	行政関係者
3	大城節子 おおしろ せつこ	沖縄県婦人連合会 副会長	公益代表者
4	大山朝賢 おおやま ちようけん	沖縄県医師会 理事	公益代表者
5	狩俣恵一 かりまた けいいち	沖縄国際大学 教授（民俗学）	学識経験者
6	三浦健太郎 みうら けんたろう	沖縄総合事務局総務部長	行政関係者
7	酒井一人 さかい かずひと	琉球大学準教授（生産環境学）	学識経験者
8	会長 桜井国俊 さくらい くにとし	沖縄大学学長（都市工学）	学識経験者
9	砂川博紀 すながわ ひろき	沖縄県農業協同組合 代表理事専務	産業界代表者
10	堤純一郎 つつみ じゆんいちろう	琉球大学教授（大気環境学）	学識経験者
11	仲地清 なかち きよし	名桜大学教授（国際政治学）	学識経験者
12	中谷誠治 なかや せいじ	（財）亜熱帯総合研究所 主任研究員	住民代表者
13	副会長 渕辺美紀 ふちべ みき	沖縄経済同友会 副代表幹事	産業界代表者
14	宮里啓子 みやざと けいこ	浦添市立中央公民館 非常勤館長	住民代表
15	村上尚子 むらかみ なおこ	沖縄弁護士会 弁護士	公益代表者

（五十音順）

沖縄県公害審査会会委員名簿

任期（平成19年8月4日～平成22年8月3日）

役職	氏名	職名
1	石島英 いしじま すぐる	元琉球大学教授（気象学）
2	上江洲純子 うえがし洲 じゆんこ	沖縄国際大学講師（法学）
3	大嶺千枝子 おおみね ちえこ	沖縄県看護協会監事（保健師）
4	大山朝賢 おおやま ちようけん	勝山病院院長（医師）
5	小野啓子 おの けいこ	沖縄大学準教授（都市計画）
6	新里隆男 しんざと たかお	元琉球大学教授（熱工学）
7	照屋俊幸 てる や としゆき	弁護士
8	会長代理 とがしき よしひろ 渡嘉敷 義浩	琉球大学教授（土壌学）
9	中村照美 なかむら てるみ	弁護士
10	会長 ながよし せいげん 永吉 盛元	弁護士
11	みやざと せつこ 宮里 節子	琉球大学準教授（法学）
12	やましろ しのぶ 山城 志津	沖縄県薬剤師会事務局長（薬剤師）

（五十音順）

沖縄県環境影響評価審査会委員名簿

任期（平成19年9月5日～平成22年9月4日）

役職	氏名	職 業	区 分
1	つつみ じゅんいちろう 堤 純一郎	琉球大学工学部教授	大 気 環 境
2 会長	つかやま せいこう 津嘉山 正 光	琉球大学名誉教授	水 環 境
3	よしなが あんしゅん 吉 永 安 俊	琉球大学農学部教授	
4	あらかき たけし 新 垣 武	沖縄国際大学経済学部准教授	
5	まえかど あきら 前 門 晃	琉球大学法文学部教授	地 形 ・ 地 質
6 副会長	みやぎくに はる治 宮 城 邦 治	沖縄国際大学総合文化学部教授	陸 域 動 物
7	いざわ まさこ 伊 澤 雅 子	琉球大学理学部教授	
8	たちばら かつのり 立 原 一 憲	琉球大学理学部准教授	陸 ・ 海 域 動 物
9	しんじょう かず はる治 新 城 和 治	元琉球大学教授	陸 域 植 物
10	よこた まさつぐ 横 田 昌 嗣	琉球大学理学部教授	
11	かむら しんたく 香 村 真 徳	琉球大学名誉教授	海 域 植 物
12	にしひら もりたか 西 平 守 孝	名桜大学国際学部特任教授	海 域 動 物
13	びせ ひろこ 備 瀬 ひろ子	（株）都市科学政策研究所代表取締役技術管理者	景観 人と自然との触れ合い活動の場

第16期 沖縄県自然環境保全審議会委員名簿

任期（平成20年8月5日～平成22年8月4日）

	氏 名	代表区分	現 職 名	備考（専門分野）
1	よこた まさつぐ 横 田 昌 嗣	学識経験者	琉球大学理学部教授	細胞遺伝学
2	たいら けんこう 平 良 健 康	〃	沖縄県社会福祉事業団沖縄療育園 医療技監	医学
3	まえかど あきら 前 門 晃	〃	琉球大学法文学部教授	地形学
4	いざわ まさこ 伊 澤 雅 子	〃	琉球大学理学部教授	保全生物学
5	つじ みずき 辻 瑞 樹	〃	琉球大学農学部教授	社会性昆虫学
6	たなはら あきら 棚 原 朗	〃	琉球大学機器分析センター准教授	放射化学
7	ふじた ようこ 藤 田 陽 子	〃	琉球大学法文学部准教授	環境経済学
8	あんどう てつや 安 藤 徹 哉	〃	琉球大学工学部准教授	環境計画学
9	おくだ なおひさ 奥 田 直 久	〃	環境省九州地方環境事務所那覇自然環境事務所	自然保護行政
10	ひらぬま こうた 平 沼 孝 太	〃	林野庁九州森林管理局 沖縄森林管理署長	林野行政
11	たいら こうじ 平 良 浩 二	〃	内閣府沖縄総合事務局経済産業部 環境資源課長	鉱業行政
12	ふくむら けいすけ 福 村 圭 介	住民代表者	縄島獣医師会長	獣医学
13	うえはら ともこ 上 原 智 子	〃	沖縄弁護士会	法学
14	やましろ しづ 山 城 志 津	〃	沖縄県薬剤師会事務局長	薬学
15	おばら ゆうじ 小 原 祐 二	〃	自営業	一般公募

(4) 環境年表

年 月 日	事 項
昭和47年 5月15日	○本土復帰により琉球政府が廃止され、沖縄県庁が発足し、組織は1室6部、3局、61課8室で構成される。
同年 9月4日	○沖縄県公害防止条例（沖縄県条例第58号）制定 ○沖縄県附属機関設置条例（沖縄県条例第50号）の制定により、沖縄県公害審査会を設置
同年 9月9日	○沖縄県公害防止条例施行規則（沖縄県規則第139号）制定 ○沖縄県公害の規制基準等に関する規則（沖縄県規則第140号）制定
昭和48年 4月1日	○沖縄県公害対策審議会条例（沖縄県条例第103号）制定 ○沖縄県水質審議会条例（沖縄県条例第104号）制定 ○環境保全行政について、企画部の環境保全室が環境保全対策の総合企画及び調整を主な所掌事務とし、厚生部の環境衛生課が公害防止の所掌事務を行うこととなった。 また、公害の技術部である公害衛生研究所を沖縄県公害衛生研究所と改称して、公害防止のための調査、研究業務を行うこととなった。
同年 4月2日	○沖縄県放射能対策本部設置規程（沖縄県訓令第10号）制定
同年 7月23日	○沖縄県公害審査会の紛争処理の手續きに要する費用に関する条例（沖縄県条例第56号）制定
同年 9月7日	○赤土等流出防止対策協議会設置規程（沖縄県訓令第22号）制定
同年 11月15日	○沖縄県公害審査会規則（沖縄県規則第87号）制定 ○沖縄県公害審査会の手数料の納付の方法及び減免等に関する規則（沖縄県規則第88号）制定
昭和49年 3月1日	○騒音規制法（昭和43年法律第98号）第3条第1項の規定により、特定工場等において発生する騒音、特定建設作業からの騒音を規制する地域の指定（沖縄県告示第73号）、同年4月1日施行（指定地域）名護市、具志川市、沖縄市、宜野湾市、浦添市、那覇市、糸満市、平良市、石垣市及び豊見城村 ○騒音規定法第4条第1項の規定により、昭和49年沖縄県告示第73号により指定された地域について特定工場等において発生する騒音の規制基準の設定（沖縄県告示第74号）、同年4月1日施行 ○特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準（昭和43年厚生省・建設省告示第1号）の別表第1号の規定に基づく区域の指定（沖縄県告示第75号）、同年4月1日施行
同年 3月4日	○公害対策基準法（昭和42年法律第132号）第9条の規定に基づき国場川及び比謝川の公共用水域が該当する水質汚濁に係る環境基準の水域の類型の指定（沖縄県告示第78号）
同年 4月1日	○多様化する環境行政に対応するために環境保全室と環境衛生課の公害係を廃止し、新設された環境保健部に環境保全課、公害規制課、自然保護課を新設して環境問題の解決にあたることになった。
同年 9月24日	○沖縄県行政組織規則（昭和49年沖縄県規則第18号）第107条第1項の規定に基づき設置された、沖縄県公害対策連絡協議会の運営規程（沖縄県訓令第33号）制定
同年 10月1日	○公害監視船（ひまわり）15t乗組員4人を公害規制課へ配置し、金武湾一帯の監視パトロールにあたる。
昭和50年 3月6日	○公害対策基本法第9条第2項及び環境基準に係る水域及び地域の指定権限の委任に関する政令（昭和46年政令第159号）第1項の規定により、金武湾、中城湾、与勝海域、北部西海岸流入河川（満名川）及び福地川の公共用水域が該当する水質汚濁に係る環境基準の水域類型の指定（沖縄県告示第79号）
同年 4月1日	○総合的・積極的かつ敏速適切に環境行政を推進、強化するため、環境保全課と公害規制課を統合して公害対策課に改称 又、新たに環境整備課を設置し、公害対策課に特殊公害係を設置

年 月 日	事 項
昭和50年 7月 9日	○水質汚濁防止法第3条第3項の規定に基づく排水基準を定める条例（沖縄県条例第37号）制定（国場川、比謝川に係る上乘せ排水基準の設定）
同年 9月18日	○公害対策基本法第9条第2項及び環境基準に係る水質及び地域の指定権限の委任に関する政令第1項の規定により、天願川（川崎川を含む）の公共用水域が該当する水質汚濁に係る環境基準の水域類型の指定（沖縄県告示第395号）
昭和51年 3月15日	○沖縄県公害防止条例（昭和47年沖縄県条例第58号）の全部改正（沖縄県条例第2号）、同年9月14日施行
同年 3月18日	○公害対策基本法第9条第2項及び環境基準に係る水域及び地域の指定権限の委任に関する政令第1項の規定により、那覇港海域、名護湾海域、漢那川、羽地大川及び我部祖河川水系の公共用水域が該当する水質汚濁に係る環境基準の水域類型の指定（沖縄県告示第82号）
同年 4月 1日	○沖縄県行政組織規則第107条第2項に定める沖縄県米軍基地環境科学委員会の運営規程（沖縄県訓令第8号）制定
同年 8月 5日	○水質汚濁防止法第3条第3項の規定に基づく排水基準を定める条例の一部改正（沖縄県条例第27号）（天願川、中城湾、与勝海域、金武湾に係る上乘せ排水基準の設定）
同年 9月13日	○沖縄県公害防止条例施行規則（昭和47年沖縄県規則第139号）の全部改正（沖縄県規則第31号）、同年9月14日施行
同年 10月14日	○沖縄県公害防止条例施行規則の一部改正（沖縄県規則第38号）
昭和52年 4月25日	○公害対策基本法第9条第2項及び環境基準に係る水域及び地域の指定権限の委任に関する政令第1項の規定により、北部東海岸流入河川（新川川、安波川、普久川）、汀良川、宮古海域（平良港海域）及び八重山海域（石垣港海域、川平湾海域）の公共用水域が該当する水質汚濁に係る環境基準の水域類型の指定（沖縄県告示第193号）
同年 6月20日	○水質汚濁防止法第3条第3項の規定に基づく排水基準を定める条例の一部改正（沖縄県条例第24号）（羽地大川、我部祖河川、名護湾に係る上乘せ排水基準の設定）
昭和53年 3月 1日	○悪臭防止法（昭和46年法律第91号）第3条の規定による工場その他の事業場における事業活動に伴って発生する悪臭物質の排出を規制する地域の指定及び同法第3条の規定による当該規制地域について規制基準の設定（沖縄県告示第87号）、同年4月1日施行（規制地域）名護市、石川市、具志川市、沖縄市、宜野湾市、浦添市、那覇市、糸満市、平良市、石垣市、与那城村、北中城村、中城村及び西原村
同年 5月15日	○沖縄県公害の規制基準等に関する規則（昭和47年沖縄県規則第140号）の廃止
同年 5月15日	○公害対策基本法第9条第2項及び環境基準に係る水域及び地域の指定権限の委任に関する政令第1項の規定により、久茂地川、安里川及び安謝川の公共用水域が該当する水質汚濁に係る環境基準の水域類型の指定（沖縄県告示第233号）
同年 6月24日	○水質汚濁防止法第3条第3項の規定に基づく排水基準を定める条例の一部改正（沖縄県条例第24号）（那覇港海域に係る上乘せ排水基準の設定）
昭和54年 3月 1日	○昭和53年沖縄県告示第87号（悪臭規制地域の指定及び規制基準の設定）の一部を改正する告示（沖縄県告示第78号）制定、同年4月1日施行
同年 3月 8日	○沖縄県公害防止条例施行規則の一部改正（沖縄県規則第6号）、同年4月1日施行 ○騒音規制法に基づく規制地域及び特定工場において発生する騒音の規制基準、特定建設作業に伴って発生する騒音の規制基準に基づく指定地域内における自動車騒音の限度を定める命令に基づく区域及び時間の指定並びに昭和49年沖縄県告示第73号、第74号、第75号の廃止（沖縄県告示第95号）、同年4月1日施行

年 月 日	事 項
昭和54年 3月 8日	○振動規制法（昭和51年法律第64号）第3条第1項の規定に基づく規制地域及び同法第4条第1項の規定に基づく規制基準、同法施行規則別表第1の付表に基づく指定区域並びに府令別表第2の規定に基づく区域及び時間の指定（沖縄県告示第96号）制定、同年4月1日施行
同年 4月 9日	○公害対策基本法第9条第2項及び環境基準に係る水域及び地域の指定権限の委任に関する政令第1項の規定により、報得川の公共用水域が該当する水質汚濁に係る環境基準の水域類型の指定（沖縄県告示第166号）
同年 9月29日	○水質汚濁防止法第3条第3項の規定に基づく排水基準を定める条例の一部改正（沖縄県条例第32号）（報得川に係る上乘せ排水基準の設定）
昭和55年 5月19日	○赤土等流出防止対策協議会設置規程（昭和48年沖縄県訓令第22号）の一部を改正する訓令（沖縄県訓令第24号）
同年 6月12日	○公害対策基本法第9条第2項及び環境基準に係る水域及び指定権限の委任に関する政令第1項の規定により、牧港川の公共用水域が該当する水質汚濁に係る環境基準の水域類型の指定（沖縄県告示第377号）
昭和56年 4月18日	○新公害監視船（こんぺき）38.82 t 完成
昭和57年 3月25日	○騒音規制法に基づく規制地域の指定及び規制基準の設定（昭和54年沖縄県告示第9号）の一部改正（沖縄県告示第184号）、同年5月1日施行
同年 3月25日	○振動規制法に基づく規制地域の指定及び規制基準の指定（昭和54年沖縄県告示第96号）の一部改正（沖縄県告示第185号）、同年5月1日施行 ○悪臭規制地域の指定及び規制基準の設定（昭和53年沖縄県告示第87号）の一部改正（沖縄県告示第186号）、同年5月1日施行
同年 6月 3日	○公害対策基本法第9条第2項及び環境基準に係る水域及び地域の指定権限の委任に関する政令第1項の規定により、羽地内海の公共用水域が該当する水質汚濁に係る環境基準の水域類型の指定（沖縄県告示第318号）
同年 7月12日	○公害対策基本法第9条第2項及び環境基準に係る水域及び地域の指定権限の委任に関する政令第1項の規定により、辺野喜川の公共用水域が該当する水質汚濁に係る環境基準に水域類型の指定（沖縄県告示第373号）
同年 10月28日	○沖縄県行政組織規則の一部を改正する規則（沖縄県規則第51号）の公布（第107号第2項の表中沖縄米軍基地環境科学委員会の項を削る）、同年11月1日施行
同年 11月15日	○沖縄県米軍基地環境科学委員会規程を廃止する訓令（沖縄県訓令第20号）、同年11月15日施行
昭和58年 3月28日	○環境基準に係る水域及び地域の指定権限の委任に関する政令第2項の規定に基づき、那覇空港周辺地域について、航空機騒音に係る地域類型あてはめの設定（沖縄県告示第209号）
同年 4月 1日	○国の行政改革との関連から県は昭和58年度組織定数の見直し及び組織の統廃合を実施、その結果環境整備課が廃止され、当該課の環境整備係が公害対策課に移管
昭和60年 4月 1日	○組織改正により、公害対策課の環境整備係が環境衛生課に移管
昭和60年 4月 5日	○騒音規制法に基づく規制地域の指定及び規制基準の設定（昭和54年沖縄県告示第95号）の一部改正（沖縄県告示第327号）、同年5月1日から施行 ○振動規制法に基づく規制地域の指定及び規制基準の設定（昭和54年沖縄県告示第96号）の一部改正（沖縄県告示第328号）、同年5月1日から施行 ○悪臭防止法に基づく規制地域の指定及び規制基準の設定（昭和53年沖縄県告示第87号）の一部改正（沖縄県告示第329号）、同年5月1日から施行
昭和61年 1月12日	○沖縄県水質審議会を廃止する条例により沖縄県水質審議会を廃止、同年1月12日より施行

年 月 日	事 項
昭和61年 2月28日	○騒音規制法に基づく規制地域の指定及び規制基準の設定に係る告示（昭和54年沖縄県告示第95号）の一部改正（沖縄県告示第129号）、同年4月1日から施行
同年 3月13日	○振動規制法に基づく規制地域の指定及び規制基準の設定に係る告示（昭和54年沖縄県告示第96号）の一部改正（沖縄県告示第130号）、同年4月1日から施行 ○赤土等流出防止対策協議会設置規程に基づき、沖縄県赤土等流出防止対策協議会を設置、同年4月1日発足
同年 7月8日	○沖縄県放射能対策本部設置規程（沖縄県訓令第10号）を廃止、沖縄県部内協議機関設置規程に基づき、沖縄県放射能対策本部を設置、同年4月1日発足 ○騒音規制法に基づく規制地域の指定及び規制基準の設定に係る告示（昭和54年沖縄県告示第95号）の一部改正（沖縄県告示第467号）、同年8月8日施行 ○悪臭防止に基づく規制地域の指定及び規制基準の設定に係る告示（昭和53年沖縄県告示第87号）の一部改正（沖縄県告示第468号）、同年8月8日施行 ○振動規制法に基づく規制地域の指定及び規制基準の設定に係る告示（昭和54年沖縄県告示第96号）の一部改正（沖縄県告示第469号）、同年8月8日施行
昭和62年 3月31日	○沖縄県河川浄化対策連絡協議会の設置（同年4月1日発足）
同年 4月1日	○特殊公害係を環境管理係に名称変更
同年 10月2日	○騒音規制法に基づく規制地域の指定及び規制基準の設定に係る告示（昭和54年沖縄県告示第95号）の一部改正（沖縄県告示第735号）、同年11月2日施行 ○振動規制法に基づく規制地域の指定及び規制基準の設定に係る告示（昭和54年沖縄県告示第96号）の一部改正（沖縄県告示第936号）、同年11月2日施行 ○悪臭防止法に基づく規制地域の指定及び規制基準の設定に係る告示（昭和53年沖縄県告示第87号）の一部改正（沖縄県告示第937号）、同年11月2日施行
同年 11月5日	○第53回全国公害行政協議会の開催
昭和63年 2月16日	○環境基準に係る水域及び地域の指定権限の委任に関する政令第2項の規定に基づき、嘉手納飛行場及び普天間飛行場周辺地域について、航空機騒音に係る環境基準に係る地域の類型あてはめの設定（沖縄県告示第107号）
同年 3月25日	○環境基準に係る水域及び地域の指定権限の委任に関する政令第1項の規定により、源河川の公共用水域が該当する水質汚濁に係る環境基準の水域類型の指定（沖縄県告示第269号）
同年 6月9日	○沖縄県公害対策審議会委員（15名）発令
同年 7月15日	○水質汚濁防止法第3条第3項の規定に基づく排水基準を定める条例の一部改正（沖縄県条例第24号）（源河川水域に係る上乗せ排水の基準の設定）
同年 8月16日	○「新石垣空港建設に係る埋立事業環境影響評価準備書」に対する知事意見公表
同年 10月4日	○環境管理計画策定に係る意見を求める為、沖縄県環境管理計画基本構想懇談会を設置
平成元年 2月10日	○沖縄県環境管理計画基本構想懇談会委員（15名）委嘱
同年 3月28日	○公害対策基本法第9条第2項及び環境基準に係る水質及び地域の指定権限の委任に関する政令第2項の規定により、騒音に係る環境基準の地域類型の指定（沖縄県告示第274号）（那覇市及び浦添市）
同年 4月8日	○沖縄県公害審査委員会（9名）発令
同年 4月25日	○環境基準に係る水域及び地域の指定権限の委任に関する政令第1項の規定により、平南川、大保川の公共用水域が該当する水質汚濁に係る環境基準の水域類型指定（沖縄県告示第368号）
同年 10月18日	○水質汚濁防止法第3条第3項の規定に基づく排水基準を定める条例の一部改正（沖縄県条例第31号）（平南川、大保川水域に係る上乗せ排水基準の設定）

年 月 日	事 項
平成元年12月15日	○悪臭防止法に基づく規制地域の指定及び規制基準の設定に係る告示の一部改正（沖縄県告示第883号）、平成2年1月15日施行 ○騒音規制法に基づく規制地域の指定及び規制基準の設定に係る告示の一部改正（沖縄県告示第884号）、平成2年1月15日施行 ○振動規制法に基づく規制地域の指定及び規制基準の設定に係る告示の一部改正（沖縄県告示第885号）、平成2年1月15日施行
平成2年1月16日	○環境基準に係る水域及び地域の指定権限の委任に関する政令第1項の規定により、宮良川、名蔵川の公共用水域が該当する水質汚濁に係る環境基準の水域類型指定（沖縄県告示第51号）
同年 2月2日	○沖縄県部内協議機関設置規程の一部を改正、沖縄県環境管理計画策定連絡協議会を設置（同日発足）
同年 3月15日	○沖縄県環境保全基金条例（沖縄県条例第2号）の制定、同日施行、同年3月30日当該基金（4億円）造成
同年 3月23日	○環境基準に係る水域及び地域の指定権限の委任に関する政令第2項の規定により、騒音に係る環境基準の地域類型指定（沖縄県告示第329号）（沖縄市、宜野湾市、具志川市、石川市及び糸満市）
平成3年3月20日	○沖縄県公害対策審議会委員（15名）委嘱
同年 3月27日	○地域環境センター開所 ○環境アドバイザー（1名）及び地域環境保全活動推進員（10名）委嘱
平成4年1月14日	○「中城湾港公有水面埋立事業に係る環境影響評価準備書」に対する知事意見公表
同年 2月4日	○環境基準に係る水域及び地域の指定権限の委任に関する政令第2項の規定により、騒音に係る環境基準の地域類型指定（沖縄県告示第120号）（名護市、平良市、石垣市、南風原町、佐敷町、東風平町、与那原町、西原町、豊見城村及び読谷村）
同年 8月4日	○沖縄県公害審査会委員（10名）発令
同年 8月18日	○沖縄県環境影響評価規程告示、平成5年2月1日施行
同年 9月22日	○水質汚濁防止法第14条の6第1項の規定により生活排水対策重点地域の指定（沖縄県告示第768号） 国場川流域生活排水対策重点地域 那覇市、南風原町、東風平町、豊見城村及び大里村の全域（下水道処理区域を除く） 天願川流域生活排水対策重点地域 具志川市の全域（下水道処理区域を除く）
同年 10月12日	○沖縄県環境影響評価規程実施要領策定
平成5年1月29日	○沖縄県環境影響評価技術指針策定
平成5年3月31日	○沖縄県環境管理計画基本構想策定
同年 4月1日	○公害対策課が環境保全課に、環境衛生課が生活衛生課に改組
平成6年3月31日	○沖縄県環境管理計画策定
同年 4月1日	○公害衛生研究所が衛生環境研究所に改組
同年 7月22日	○沖縄県公害対策審議会条例及び沖縄県公害防止条例の一部を改正する条例制定により、公害対策審議会が環境審議会へ改称、同年8月1日施行
同年 10月20日	○沖縄県赤土等流出防止条例（沖縄県条例第36号）制定 ○沖縄県行政組織規則の一部を改正する規則（沖縄県規制第56号）の公布（第50条第16号、第241号第1号表中の公害対策審議会を環境審議会へ改称）
平成7年8月4日	○沖縄県公害審査会委員（15名）発令
同年 10月9日	○沖縄県赤土等流出防止条例施行規則（沖縄県規則第64号）制定
同年 10月15日	○沖縄県赤土等流出防止条例施行

年 月 日	事 項
平成8年2月23日	○水質汚濁防止法第14条の6第1項の規定により生活排水対策重点地域の指定（沖縄県告示第169号） 糸満市 糸満市の全域（下水道処理区域を除く）
同年 2月29日	○沖縄県環境審議会委員（16名）発令
同年 4月1日	○環境保全課が環境保全室へ改組
平成9年3月25日	○水質汚濁防止法第14条の6第1項の規定により生活排水対策重点地域の指定（沖縄県告示第272号） 牧港川・宇地泊川流域生活排水対策重点地域 浦添市、宜野湾市、西原町及び中城村の全域（下水道処理区域を除く）
平成10年2月27日	○水質汚濁防止法第14条の7第1項の規定により生活排水対策重点地域の指定（沖縄県告示第160号） 比謝川流域生活排水対策重点地域 沖縄市、嘉手納町及び読谷村の全域（下水道処理区域を除く） 雄樋川流域生活排水対策重点地域 東風平町、大里村、具志頭村及び玉城村の全域（下水道処理 区域を除く）
同年 4月1日	○環境保健部が福祉保健部と文化環境部へ組織再編され、福祉保健部には薬務衛生課、文化環境部には環境保全室、自然保護課及び廃棄物対策課を設置
平成11年5月27日	○沖縄県環境率先実行計画策定
平成12年3月31日	○沖縄県環境基本条例制定
同年 12月27日	○沖縄県環境影響評価条例制定
平成13年4月1日	○環境保全室が環境政策課と環境保全課に、廃棄物対策課が環境整備課に改組
同年 7月10日	○沖縄県環境影響評価審査会委員（13名）委嘱
同年 11月1日	○沖縄県環境影響評価条例全面施行
平成14年3月30日	○ちゅら島環境美化条例（沖縄県条例第13号）公布
同年 7月1日	○ちゅら島環境美化条例施行（但し、第8条、第15条及び第16条（罰則に係る規定）を除く。）
平成14年8月24日	○復帰30周年記念事業「ちゅら島うちなー環境フェア」の開催
同年 8月24日	○おきなわアジェンダ21県民会議設立
同年 10月24日	○沖縄県環境保全実施計画策定（沖縄振興推進計画の分野別計画）
平成15年1月1日	○ちゅら島環境美化条例全面施行
同年 4月1日	○沖縄県環境基本計画策定
同年 8月1日	○沖縄県地球温暖化対策地域推進計画策定
同年 11月17日	○沖縄県地球温暖化防止活動推進センター指定
平成16年7月21日	○沖縄県環境影響評価審査会委員（13名）委嘱
平成17年2月16日	○沖縄県地球温暖化防止活動推進員（35名）委嘱
同年 2月25日	○本庁行政棟においてISO14001を認証取得
同年 7月26日	○沖縄県産業廃棄物税条例（沖縄県条例第37号）公布
同年 10月26日	○沖縄県産業廃棄物税基金条例（沖縄県条例第54号）公布
平成18年3月3日	○沖縄県産業廃棄物税条例施行規則（沖縄県規則第5号）公布
同年 3月29日	○沖縄県環境教育推進方針策定
同年 4月1日	○産業廃棄物税導入
平成19年8月4日	○沖縄県公害審査会委員（12名）委嘱
同年9月5日	○沖縄県環境影響評価審査会委員（13名）委嘱
同年9月14日	○沖縄県環境審議会委員（15名）委嘱
平成20年3月26日	○第3次沖縄県環境保全実施計画策定
平成20年12月26日	○公害防止条例の全部を改正し、沖縄県生活環境保全条例（沖縄県条例第43号）公布

## 2 大気関係

### (1) 大気汚染常時監視局・測定結果一覧

#### ア 二酸化硫黄

#### 二酸化硫黄の測定結果

(平成20年度)

測定局名	測定時間	年平均値	1時間値の最高値	1時間値が0.1ppmを越えた時間数		日平均値が0.04ppmを越えた日数、その割合及び2日以上連続したことの有無			日平均値の2%除外値	長期的評価の適否	
	(時間)	(ppm)	(ppm)	(時間)	(%)	(日)	(%)	(有・無)	(ppm)	(適・否)	
一般環境大気測定局	那 覇	8,648	0.001	0.043	0	0	0	0	無	0.005	適
	西 原	8,179	0.002	0.027	0	0	0	0	無	0.005	適
	与那城	8,226	0.002	0.012	0	0	0	0	無	0.004	適
	名 護	8,673	0.000	0.014	0	0	0	0	無	0.002	適
	沖 縄	8,701	0.000	0.011	0	0	0	0	無	0.002	適
	糸 満	8,216	0.004	0.021	0	0	0	0	無	0.007	適
	平 良	8,117	0.002	0.017	0	0	0	0	無	0.004	適
	石 垣	7,769	0.003	0.030	0	0	0	0	無	0.008	適

#### 二酸化硫黄の経年変化

(単位:ppm)

測定局名	16年度		17年度		18年度		19年度		20年度		
	年平均値	2%除外値	年平均値	2%除外値	年平均値	2%除外値	年平均値	2%除外値	年平均値	2%除外値	
一般環境大気測定局	那 覇	0.000	0.002	0.001	0.006	0.002	0.008	0.002	0.007	0.001	0.005
	浦 添	0.002	0.005	0.002	0.005	0.002	0.005	/	/	/	/
	西 原	0.001	0.003	0.002	0.003	0.002	0.004	0.002	0.004	0.002	0.005
	与那城	0.002	0.003	0.002	0.003	0.002	0.003	0.002	0.004	0.002	0.004
	金 武	0.002	0.003	0.002	0.003	0.002	0.006	(0.003)	(0.009)	/	/
	名 護	0.000	0.002	0.000	0.001	0.000	0.001	0.000	0.002	0.000	0.002
	沖 縄	0.000	0.002	0.000	0.002	0.000	0.002	0.000	0.003	0.000	0.002
	糸 満	0.003	0.006	0.002	0.005	0.003	0.006	0.003	0.007	0.004	0.007
	平 良	0.003	0.008	0.003	0.005	(0.002)	(0.004)	(0.003)	(0.005)	0.002	0.004
石 垣	0.003	0.012	0.001	0.004	0.002	0.004	0.005	0.013	0.003	0.008	

- (注) 1. ( )は測定時間が6,000時間未満を、-は欠測を示す。  
 2. 那覇測定局は、平成9年2月に沖縄県庁舎から中央保健所に移設。  
 3. 浦添測定局は、平成19年3月に廃止。  
 4. 西原測定局は、平成20年4月に西原町役場から西原町社会福祉センターに移設。  
 5. 金武測定局は、平成20年4月に廃止。  
 6. 石垣測定局は、平成20年9月に石垣市役所から八重山福祉保健所に移設。

イ 二酸化窒素

二酸化窒素の測定結果

(平成20年度)

測定局名	有測日	効定数	測定時間	年平均値	1時間値の最高値	日平均値が0.06ppmを越えた日数とその割合		日平均値が0.04ppm以上、0.06ppm以下の日数とその割合		日平均値の年間98%値	長期的評価の適否
						(日)	(%)	(日)	(%)		
一般環境大気測定局	那覇	330	7,883	0.010	0.047	0	0	0	0	0.021	適
	西原	348	8,316	0.006	0.041	0	0	0	0	0.015	適
	与那城	300	7,173	0.001	0.018	0	0	0	0	0.003	適
	名護	325	7,880	0.004	0.031	0	0	0	0	0.009	適
	沖縄	248	5,944	0.008	0.054	0	0	0	0	0.019	適
	糸満	318	7,615	0.005	0.044	0	0	0	0	0.013	適
	平良	325	7,815	0.001	0.021	0	0	0	0	0.005	適
局自排	牧港	365	8,714	0.016	0.070	0	0	2	0.5	0.037	適
	松尾	365	8,731	0.024	0.092	0	0	60	16.4	0.050	適

二酸化窒素の経年変化

(単位:ppm)

測定局名	16年度		17年度		18年度		19年度		20年度		
	年平均値	年間98%値	年平均値	年間98%値	年平均値	年間98%値	年平均値	年間98%値	年平均値	年間98%値	
一般環境大気測定局	那覇	0.015	0.032	0.012	0.027	0.013	0.025	0.011	0.023	0.010	0.021
	浦添	0.004	0.010	0.004	0.009	0.004	0.009	—	—	—	—
	西原	0.009	0.023	0.009	0.022	0.008	0.018	0.007	0.018	0.006	0.015
	与那城	0.001	0.003	0.001	0.003	0.001	0.002	0.001	0.003	0.001	0.003
	金武	0.004	0.009	0.003	0.008	0.003	0.007	(0.003)	(0.006)	—	—
	名護	0.007	0.016	0.006	0.013	0.006	0.013	0.005	0.011	0.004	0.009
	沖縄	0.009	0.021	0.008	0.020	0.009	0.019	0.008	0.017	(0.008)	(0.019)
	糸満	0.006	0.015	0.006	0.015	0.005	0.013	0.005	0.014	0.044	0.013
	平良	0.002	0.010	0.002	0.008	0.002	0.007	0.002	0.008	0.001	0.005
	石垣	0.007	0.021	0.006	0.016	0.006	0.014	(0.006)	(0.019)	—	—
自動車排出局	知花	0.018	0.037	0.016	0.037	0.016	0.037	0.016	0.034	—	—
	与儀	0.020	0.040	0.020	0.040	0.020	0.039	0.018	0.039	—	—
	牧港	0.018	0.046	0.016	0.046	0.018	0.039	0.014	0.036	0.016	0.037
	松尾	0.027	0.057	0.025	0.057	0.029	0.063	0.029	0.060	0.024	0.050

- (注) 1. ( )は測定時間が6,000時間未満を、—は欠測を示す。  
 2. 那覇測定局は、平成9年2月に沖縄県庁舎から中央保健所に移設。  
 3. 浦添測定局は、平成19年3月に廃止。  
 4. 西原測定局は、平成20年4月に西原町役場から西原町社会福祉センターに移設。  
 5. 金武測定局は、平成20年4月に廃止。  
 6. 石垣測定局は、平成20年9月に石垣市役所から八重山福祉保健所に移設。  
 7. 知花測定局、与儀測定局は、平成20年4月に廃止

ウ 浮遊粒子状物質

浮遊粒子状物質の測定結果

(平成20年度)

測定局名	測定時間	年平均値	1時間値の最高値	1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> を越えた時間数		日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> を越えた日数、その割合及び2日以上連続したことの有無			日平均値の2%除外値	長期的評価の適否	
				(時間)	(%)	(日)	(%)	(有・無)			
一般環境 大気測定局	那覇	8,302	0.048	0.174	0	0	0	0	無	0.073	適
	西原	8,542	0.017	0.138	0	0	0	0	無	0.040	適
	与那城	6,704	0.013	0.102	0	0	0	0	無	0.032	適
	名護	7,082	0.017	0.240	0	0	0	0	無	0.050	適
	沖縄	8,712	0.019	0.143	0	0	0	0	無	0.047	適
	平良	6,505	0.028	0.178	0	0	0	0	無	0.060	適
自排局	石垣	8,364	0.019	0.274	2	0	0	0	無	0.049	適
	牧港	8,224	0.018	0.076	0	0	0	0	無	0.039	適

浮遊粒子状物質の経年変化

(単位:ppm)

測定局名	16年度		17年度		18年度		19年度		20年度		
	年平均値	2%除外値	年平均値	2%除外値	年平均値	2%除外値	年平均値	2%除外値	年平均値	2%除外値	
一般環境 大気測定局	那覇	0.037	0.067	0.034	0.063	0.040	0.063	0.042	0.075	0.048	0.073
	浦添	0.016	0.046	0.023	0.057	0.021	0.051	/	/	/	/
	西原	(0.016)	(0.044)	0.020	0.053	0.018	0.044	0.018	0.049	0.017	0.040
	与那城	0.023	0.055	0.025	0.059	0.021	0.069	0.018	0.040	0.013	0.032
	金武	0.021	0.053	0.023	0.060	(0.020)	(0.046)	(0.026)	(0.060)	/	/
	名護	(0.015)	(0.025)	(0.023)	(0.049)	0.027	0.050	0.019	0.050	0.017	0.050
	沖縄	0.025	0.065	0.025	0.062	0.021	0.057	0.023	0.062	0.019	0.047
	糸満	(0.022)	(0.038)	—	—	—	—	—	—	—	—
	平良	(0.024)	(0.057)	(0.030)	(0.061)	(0.026)	(0.049)	0.030	0.064	0.028	0.060
石垣	0.023	0.051	0.025	0.064	0.021	0.055	0.024	0.054	0.019	0.049	
自動車 排定局	知花	0.028	0.059	(0.029)	(0.070)	0.029	0.070	0.028	0.067	/	/
	与儀	0.027	0.062	0.029	0.064	0.023	0.054	0.024	0.058	/	/
	牧港	0.016	0.029	0.021	0.045	0.020	0.040	0.024	0.062	0.018	0.039

- (注) 1. ( )は測定時間が6,000時間未満を、—は欠測を示す。  
 2. 那覇測定局は、平成9年2月に沖縄県庁舎から中央保健所に移設。  
 3. 浦添測定局は、平成19年3月に廃止。  
 4. 西原測定局は、平成20年4月に西原町役場から西原町社会福祉センターに移設。  
 5. 金武測定局は、平成20年4月に廃止。  
 6. 石垣測定局は、平成20年9月に石垣市役所から八重山福祉保健所に移設。  
 7. 知花測定局、与儀測定局は、平成20年4月に廃止

エ 一酸化炭素

一酸化炭素の測定結果

(平成20年度)

測定局名	測定時間	年平均値	1時間値の最高値	1時間値の8時間平均値が20ppmを越えた回数とその割合		日平均値が10ppmを越えた日数、その割合及び2日以上連続したことの有無			日平均値の2%除外値	長期的評価の適否
	(時間)	(ppm)	(ppm)	(時間)	(%)	(日)	(%)	(有・無)	(ppm)	(適・否)
那 覇	8,734	0.4	3.7	0	0	0	0	無	0.8	適
牧 港	8,745	0.4	2.1	0	0	0	0	無	0.7	適
松 尾	7,128	0.8	7.1	0	0	0	0	無	1.5	適

(注) 1. 那覇測定局は一般環境大気測定局。牧港測定局以下は、自動車排出ガス測定局です。

一酸化炭素の経年変化

(単位:ppm)

測定局名	16年度		17年度		18年度		19年度		20年度	
	年平均値	2%除外値	年平均値	2%除外値	年平均値	2%除外値	年平均値	2%除外値	年平均値	2%除外値
那 覇	0.6	1.2	0.5	0.9	0.4	0.8	0.4	0.8	0.4	0.8
知 花	0.8	1.4	0.7	1.2	0.6	1.4	(0.6)	(1.1)		
与 儀	0.8	2.1	0.8	1.8	0.8	1.7	0.7	1.5		
牧 港	0.4	1.1	0.4	0.7	0.4	0.9	0.4	0.9	0.4	0.7
松 尾	0.7	1.6	0.7	1.5	0.7	1.5	0.7	1.4	0.8	1.5

(注) 1. ( )は測定時間が6,000時間未満を、-は欠測を示す。

2. 那覇測定局は、平成9年2月に沖縄県庁舎から中央保健所に移設。

3. 知花測定局、与儀測定局は、平成20年4月に廃止。

オ 光化学オキシダント

光化学オキシダントの測定結果

(平成20年度)

測定局名	昼間の測定日数と時間		昼間の1時間値の年平均値	昼間の1時間値の最高値	昼間の1時間値が0.06ppmを越えた日数と時間		昼間の1時間値が0.12ppmを越えた日数と時間		長期的評価の適否
	(日数)	(時間)	(ppm)	(ppm)	(日数)	(時間)	(日数)	(時間)	(適・否)
那 覇	365	5,459	0.021	0.074	7	27	0	0	否
与那城	365	5,472	0.034	0.082	42	276	0	0	否
沖 縄	365	5,473	0.027	0.088	20	108	0	0	否

光化学オキシダントの経年変化

(単位:ppm)

測定局名	16年度		17年度		18年度		19年度		20年度	
	年平均値	昼間の1時間値の最高値								
那 覇	0.027	0.067	0.021	0.069	0.029	0.062	0.020	0.063	0.021	0.074
与那城			0.033	0.088	0.040	0.075	0.035	0.082	0.034	0.082
沖 縄	0.027	0.083	0.024	0.083	0.035	0.079	0.028	0.079	0.027	0.088

(注) 1. 与那城測定局は、平成17年度から測定開始。

カ 炭化水素及び非メタン炭化水素

炭化水素及び非メタン炭化水素の測定結果及び経年変化

(平成20年度)

測定局名	測定項目	測定結果				経年変化				
		測定時間 (時間)	3時間 平均値の 最高値 (ppmC)	3時間平均値が 0.31ppmCを越えた日数 とその割合		年平均値 (ppmC)				
				(日数)	(%)	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
那 覇	全炭化水素	931	3.24			1.93	1.94	1.88	1.78	1.91
	非メタン 炭化水素	931	1.41	6	15.8	0.15	0.13	0.13	0.13	0.14

(注) 1. 上記の3時間とは、光化学オキシダントの日最高1時間値に対応する午前6時～午前9時までの3時間の値を意味する。





### 3 水質関係

#### (1) 健康項目測定地点（河川）

番号	河川名	調査地点数
1	比謝川	3
2	国場川	2
3	満名川	2
4	福地川	1
5	天願川	2
6	漢那川	1
7	羽地大川	2
8	我部祖河川	3
9	新川川	2
10	安波川	2
11	普久川	2
12	汀間川	2
13	久茂地川	1

番号	河川名	調査地点数
14	安里川	1
15	安謝川	1
16	報得川	1
17	牧港川	2
18	辺野喜川	2
19	饒波川	1
20	源河川	1
21	平南川	1
22	大保川	1
23	宮良川	1
24	名蔵川	1
25	雄樋川	2
合 計		40

#### (2) 健康項目測定結果（河川）

測定項目	検体数	環境基準 不適合件数
カドミウム	47	0
全シアン	47	0
鉛	47	0
六価クロム	47	0
砒素	47	0
総水銀	47	0
アルキル水銀	47	0
P C B	47	0
ジクロロメタン	47	0
四塩化炭素	47	0
1,2-ジクロロエタン	47	0
1,1-ジクロロエチレン	47	0
シス-1,2-ジクロロエチレン	47	0

測定項目	検体数	環境基準 不適合件数
1,1,1-トリクロロエタン	47	0
1,1,2-トリクロロエタン	47	0
トリクロロエチレン	47	0
テトラクロロエチレン	47	0
1,3-ジクロロプロペン	47	0
チウラム	47	0
シマジン	47	0
チオベンカルブ	47	0
ベンゼン	47	0
セレン	47	0
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素	47	0
ふっ素	44	0
ほう素	44	0
合 計	1,216	0

(3) 河川水質の環境基準達成状況

河川 No.	水域 No.	環境基準 類型指定 水域名	類 型	(旧 類型)	基 準 値	環 境 基 準 点	BOD75%値 (mg/L)									
							H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
1	1	比謝川(1)	B		3	比謝川ポンプ場	3.3	3.2	2.5	2.8	2.2	1.3	2.0	1.8	1.3	1.1
	2	比謝川(2)	C		5	トニー橋	4.3	4.4	4.4	4.4	3.6	2.2	2.1	1.2	1.6	1.5
	3	<u>比謝川(3)</u>	<u>C</u>	<u>D</u>	<u>5</u>	<u>与那原川合流点</u>	4.3	4.3	5.2	4.8	4.9	3.8	3.4	2.7	1.9	2.1
2	4	国場川(1)	C		5	那覇大橋	9.5	6.9	5.2	4.5	2.6	2.4	3.6	1.5	2.2	2.0
	5	国場川(2)	E		10	真玉橋	14	8.8	8.4	10	7.5	4.5	7.4	5.2	5.2	5.7
3	6	<u>満名川(1)</u>	<u>A</u>	<u>B</u>	<u>2</u>	<u>渡久地橋</u>	1.5	1.1	1.1	0.9	1.2	0.7	0.8	0.9	1.1	0.6
	7	満名川(2)	A		2	伊野波川合流点	1.2	0.9	1.3	1.3	1.0	1.3	0.8	1.2	0.6	0.8
4	8	福地川	A		2	福地ダム	0.9	0.9	0.8	1.2	1.0	<0.5	1.0	1.0	<0.5	0.5
5	9	<u>天願川(1)</u>	<u>B</u>	<u>C</u>	<u>3</u>	<u>河口</u>	2.4	2.8	2.8	2.3	1.6	1.3	1.8	2.1	1.1	1.1
	10	天願川(2)	B		3	合流点下流100m	2.8	3.8	4.2	3.4	3.3	4.4	3.7	3.7	2.5	2.1
6	11	漢那川	A		2	漢那ダム	0.7	0.5	0.6	0.8	1.1	0.9	1.0	0.6	1.0	<0.5
7	12	羽地大川	A		2	名護市取水点	2.2	1.0	1.6	1.7	1.4	1.4	1.1	1.4	1.4	1.1
8	13	我部祖河川(1)	A		2	石橋	3.9	2.8	3.0	2.1	2.9	4.3	3.7	2.4	3.4	2.8
	14	<u>我部祖河川(2)</u>	<u>A</u>	<u>D</u>	<u>2</u>	<u>奈佐田川合流点～上流100m</u>	2.7	2.3	2.2	2.0	2.4	2.3	1.8	2.2	2.3	1.4
	15	我部祖河川(3)	A		2	奈佐田川合流点～支川100m	0.5	<0.5	1.0	0.9	1.0	1.0	0.9	0.6	<0.5	0.8
9	16	新川川(1)	A		2	下流の高江橋	0.7	0.7	1.0	1.3	1.4	0.9	1.0	0.7	<0.5	<0.5
	17	新川川(2)	A		2	新川ダム	1.2	1.2	1.2	1.3	0.9	<0.5	1.3	1.4	0.7	1.2
10	18	<u>安波川(1)</u>	<u>A</u>	<u>B</u>	<u>2</u>	<u>安波大橋</u>	0.9	1.0	1.0	1.3	0.8	0.7	0.9	0.5	<0.5	<0.5
	19	安波川(2)	A		2	安波小中校後方	0.7	0.8	0.8	1.4	1.1	0.9	1.0	1.0	<0.5	<0.5
11	20	<u>普久川(1)</u>	<u>A</u>	<u>B</u>	<u>2</u>	<u>御拝橋</u>	0.8	0.8	1.0	1.5	0.8	0.9	1.0	0.7	<0.5	<0.5
	21	普久川(2)	A		2	御拝橋上流420mの沢	0.5	0.9	1.0	1.4	0.9	1.0	0.8	<0.5	0.5	0.9
12	22	<u>汀間川(1)</u>	<u>A</u>	<u>B</u>	<u>2</u>	<u>嘉手苧橋から上流200m</u>	1.8	1.8	1.8	1.7	1.2	1.6	1.2	1.2	1.5	0.9
	23	汀間川(2)	A		2	三原小中学校前堰堤上流50m	<0.5	<0.5	0.8	1.1	0.8	1.2	0.9	1.2	0.8	1.1
13	24	<u>久茂地川</u>	<u>C</u>	<u>E</u>	<u>5</u>	<u>泉崎橋</u>	4.8	4.8	5.4	4.0	3.1	2.4	2.7	2.1	2.7	1.6
14	25	<u>安里川</u>	<u>D</u>	<u>E</u>	<u>8</u>	<u>蔡温橋下流200mの橋</u>	7.6	7.0	7.4	6.6	3.9	3.8	4.4	4.1	3.1	3.0
15	26	<u>安謝川</u>	<u>C</u>	<u>E</u>	<u>5</u>	<u>安謝橋</u>	6.4	4.4	7.2	3.8	6.1	3.4	2.5	2.9	2.1	1.6
16	27	報得川	E		10	水位計設置点	27	11	11	16	10	8.1	12	13	5.3	8.6
17	28	牧港川	C		5	牧港川取水場跡	9.7	7.5	11	13	13	11	11	7.7	7.0	5.4
						宇地泊川取水場跡	1.5	3.0	3.6	2.8	2.7	3.3	4.7	4.6	2.8	1.7
18	29	辺野喜川	A		2	辺野喜橋	0.6	0.9	1.0	1.2	0.8	<0.5	1.1	0.7	<0.5	<0.5
19	30	饒波川	D		8	石火矢橋	13	6.0	6.8	6.9	7.2	4.7	4.1	5.0	4.1	2.7
20	31	源河川	A		2	取水場	0.7	0.6	<0.5	0.5	1.4	<0.5	<0.5	0.5	0.6	<0.5
21	32	平南川	A		2	アサカ橋下流30m	1.0	0.9	1.2	1.7	1.1	1.0	1.1	1.6	0.7	0.7
22	33	<u>大保川</u>	<u>A</u>	<u>B</u>	<u>2</u>	<u>田港橋</u>	1.8	1.3	0.9	1.3	1.1	1.0	0.9	1.6	1.0	0.7
23	34	宮良川	A		2	平喜名橋	33 (1.2)	1.6	1.5	1.4	1.7	1.6	1.1	0.7	0.6	0.7
24	35	名蔵川	A		2	石糖取水場前	31 (1.1)	1.4	1.4	1.2	1.1	0.8	1.0	1.0	0.9	0.7
25	36	雄樋川	D		8	前川	9.0	7.0	8.0	11	6.4	4.6	4.7	2.8	2.5	2.7
						石川橋	11	8.3	14	8.4	11	14	6.3	6.4	17	3.7
環境基準未達成水域数							11	7	6	5	4	5	4	5	4	2
環境基準類型指定水域数							36	36	36	36	36	36	36	36	36	36
達成率% (環境基準達成水域数/指定水域数×100)							69	81	83	86	89	86	89	86	89	94

\* 黒塗りは、環境基準未達成。

\* 太字かつ下線付きの水域は、平成16年度から上位の類型に見直しを行った水域である。

\* 平成11年度における宮良川、名蔵川の値が高いのは、採水時に使用した消毒用アルコールによるものと判明した。  
( ) は回帰式により求めた参考値を示したものである。

#### (4) 各河川の概況及び水質

##### ア 比謝川

比謝川は、沖縄本島中部に位置し、流域面積60km<sup>2</sup>、延長14kmと県内では最大規模の河川の一つです。

昭和48年度に、比謝橋下流の堰堤からトニー橋までと長田川を水質環境基準のB類型（BOD 3mg/L）、トニー橋から与那原川合流点までをC類型（BOD 5mg/L）、与那原川合流点から上流とハンザ川の昭和橋までをD類型（BOD 8mg/L）に指定しました。その後、上流域の水質が改善傾向にあったことから、平成15年度末に与那原川合流点から上流とハンザ川の昭和橋までの類型を見直し、平成16年度以降、C類型としています。

環境基準点における水質は、比謝川ポンプ場では平成11年度、12年度においてわずかに超過しましたが、平成13年度以降継続して環境基準を達成しています。トニー橋では平成8年度から継続して環境基準を達成しています。与那原川合流点では平成6年度から継続して環境基準を達成しており、平成20年度も見直し後の環境基準を達成しています。

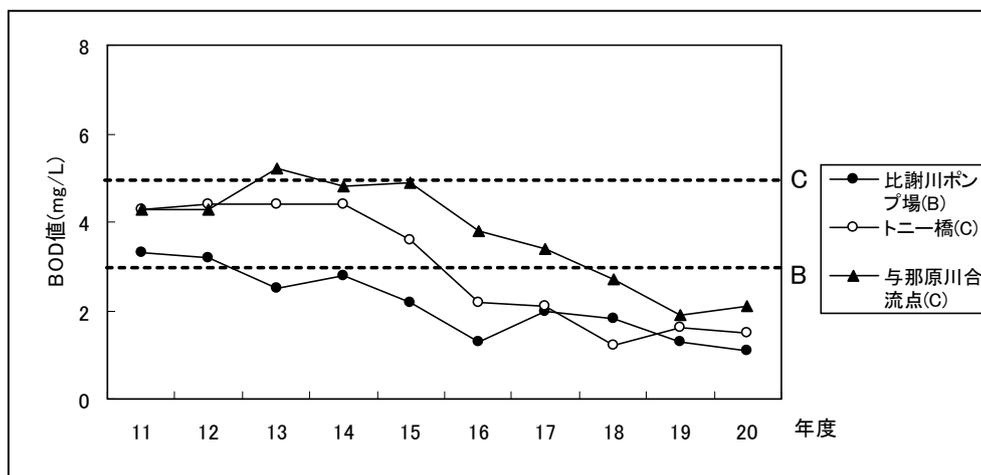


図1 比謝川の水質（BOD 75 % 値）経年変化

##### イ 国場川

国場川は本島南部に位置し、下流域は河口湖の形状で広大な干潟を有する流域面積40km<sup>2</sup>、延長10kmの河川で、那覇港に注ぎます。昭和48年度に真玉橋から下流をC類型（BOD 5mg/L）、上流をE類型（BOD 10mg/L）に指定しています。

環境基準点における水質は、那覇大橋で改善傾向にあり、平成14年度以降は環境基準を達成しています。真玉橋でも改善傾向にあり、平成12年度以降継続して環境基準を達成しています。

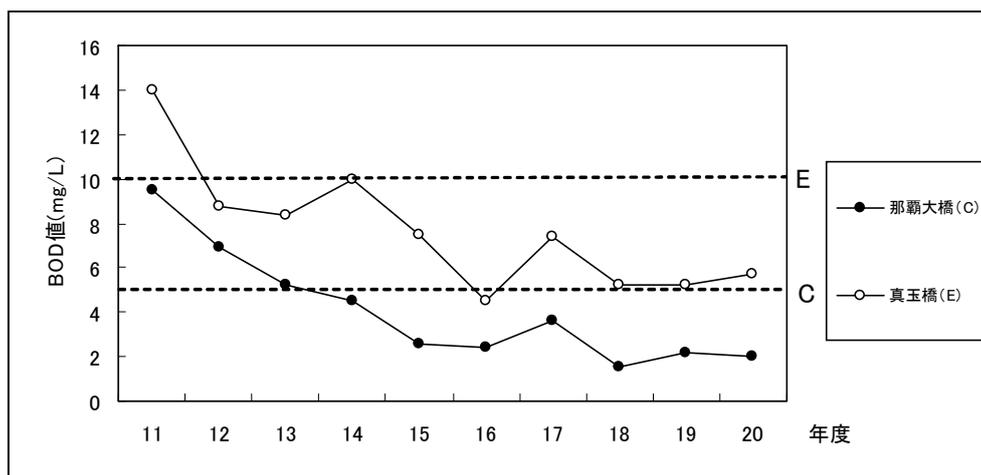


図2 国場川の水質 (BOD 75 % 値) 経年変化

ウ 満名川

満名川は、沖縄本島北部に位置し、渡久地港に注ぐ、流域面積12km<sup>2</sup>、延長5kmの河川で、昭和49年度に伊野波川合流点から渡久地橋までをB類型 (BOD 3mg/L) に、合流点から上流をA類型 (BOD 2mg/L) に指定しました。その後、水質が改善傾向にあったことから、平成16年度以降、伊野波川合流点から渡久地橋までの類型をA類型としています。

環境基準点における水質は、若干変動はありますが、類型指定以降、伊野波川合流点、渡久地橋ともに環境基準を達成しています。

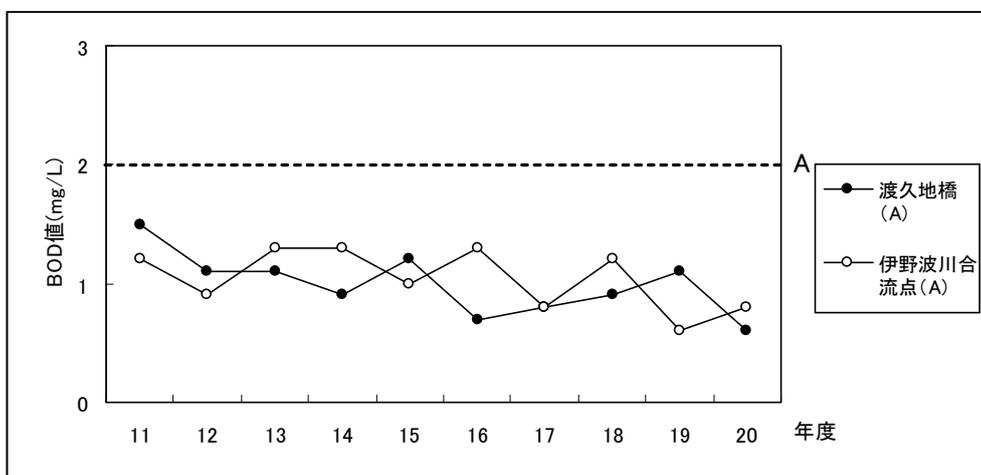


図3 満名川の水質 (BOD 75 % 値) 経年変化

エ 天願川

天願川は、読谷岳を源とし、沖縄市、うるま市の本島中部2市を貫流して金武湾に注ぐ流域面積31km<sup>2</sup>、延長11kmの河川で、水道水源として取水されるなど利水上重要な河川です。

昭和50年度に企業局取水場から上流をB類型 (BOD 3mg/L)、下流をC類型 (BOD 5mg/L) に指定しましたが、平成16年度以降、取水場から下流河口までをB類型としています。

環境基準点における水質は、河口では継続して環境基準を達成しています。支流の川崎川との合流点下流では、平成19、20年度と近年は環境基準を達成しています。

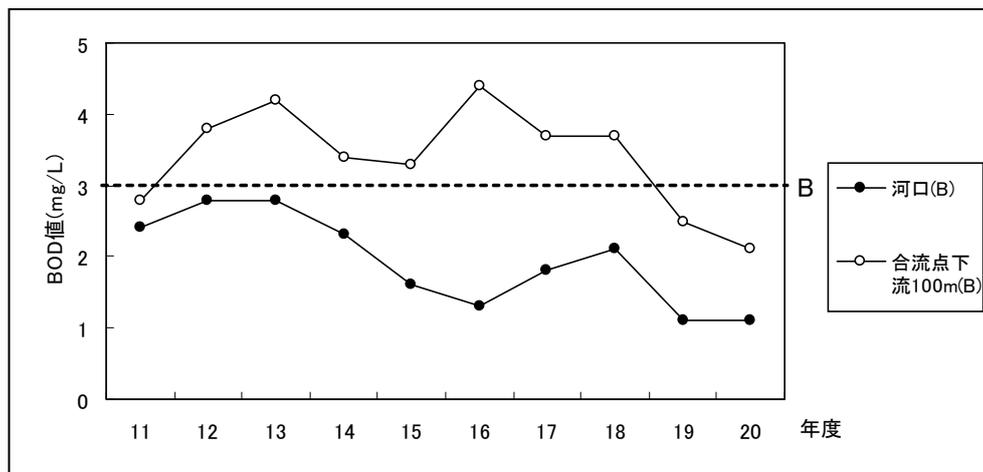


図4 天願川の水質 (BOD 75 % 値) 経年変化

オ 我部祖河川

我部祖河川は、本島北部の名護市に位置し羽地内海に注ぐ、流域面積14km<sup>2</sup>、延長7kmの河川で、昭和50年度に喜知留川合流点から上流の上流域をA類型 (BOD 2mg/L)、喜知留川合流点から下流の奈佐田川合流点までの中流域をD類型 (BOD 8mg/L)、奈佐田川全域の下流域をA類型に指定していましたが、平成16年度以降、中流域もA類型と指定しています。

環境基準点における水質は、下流域は過去10年間環境基準を達成しています。中流域は、平成16年度からA類型の基準を適用したところ、平成16、18及び19年度と環境基準を達成していません。また、上流域では、過去10年間環境基準を達成していません。

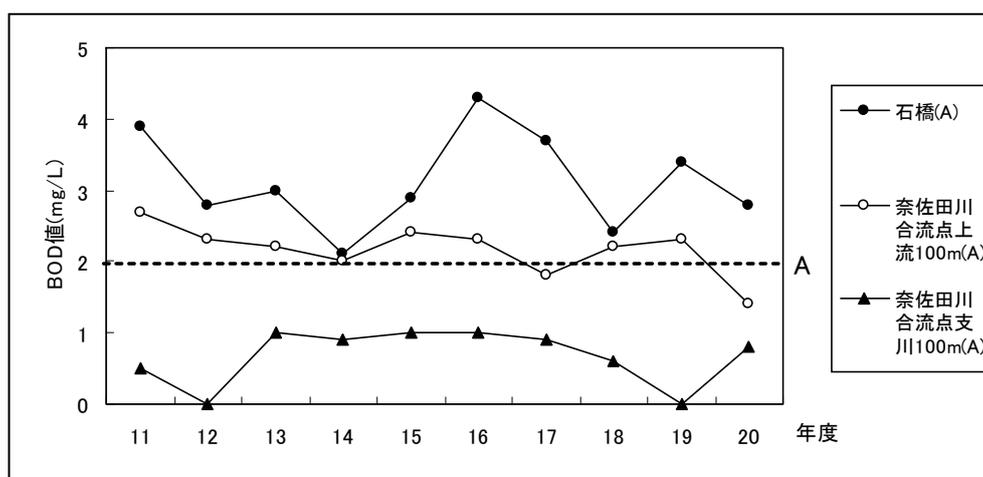


図5 我部祖河川の水質 (BOD 75 % 値) 経年変化

## カ 汀間川

汀間川は、本島北部の名護市に位置し、東海岸の大浦湾に注ぐ流域面積13km<sup>2</sup>、延長6.6kmの河川です。昭和52年度に三原小中学校前堰堤から上流をA類型（BOD 2mg/L）、下流をB類型（BOD 3mg/L）に指定しましたが、平成16年度以降、下流域もA類型としています。

環境基準点における水質は、三原小中校前堰堤上流50mの橋では類型指定以降、環境基準を達成しており、嘉手苅橋から上流200m地点においても過去10年間継続して環境基準を達成しています。

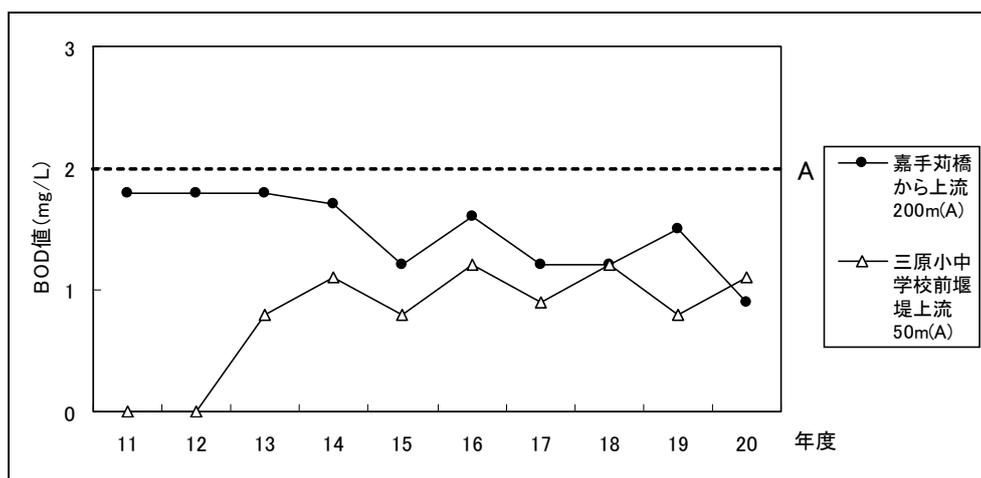


図6 汀間川の水質（BOD 75 % 値）経年変化

## キ 久茂地川・安里川・安謝川

久茂地川は、那覇市泊の崇元寺付近で安里川から分岐し明治橋を經由し那覇港に注ぐ流域面積3.7km<sup>2</sup>、延長2kmの典型的な都市河川であり、昭和53年度にE類型（BOD 10mg/L）に指定しましたが、水質が改善傾向にあったことから、平成16年度以降、C類型（BOD 5mg/L）としています。

環境基準点における水質は、平成8年度以降は環境基準を達成しています。

安里川は、首里鳥堀町付近に端を発し、金城ダムを経て那覇市の市街地を流下し、泊港に至る流域面積8.1km<sup>2</sup>、延長7.5kmの河川で、久茂地川と同様、昭和53年度にE類型に指定しましたが、平成16年度以降、D類型（BOD 8mg/L）としています。

環境基準点における水質は、平成9年度以降環境基準を達成しています。

安謝川は、首里石嶺の付近を源に、那覇市と浦添市の市境界を流下し東シナ海に注ぐ、流域面積8.4km<sup>2</sup>、延長5.2kmの河川であり、昭和53年度にE類型に指定しましたが、平成16年度以降、C類型としています。

環境基準点における水質は、過去10年間において環境基準を達成しています。

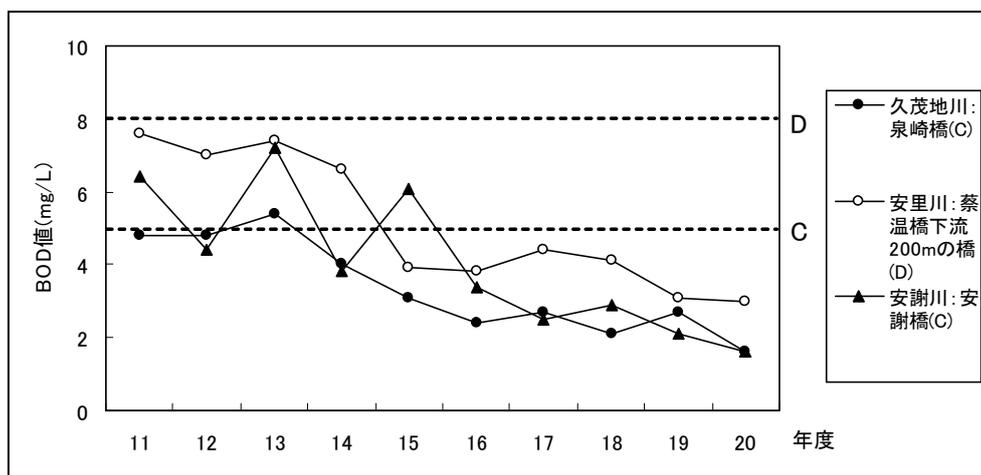


図7 久茂地川・安里川・安謝川の水質 (BOD 75 % 値) 経年変化

#### ク 報得川

報得川は本島南部に位置し、流域面積18.4km<sup>2</sup>、延長7.1kmの河川で糸満海域に注いでいます。昭和54年度にE類型 (BOD 10mg/L) に指定しています。

環境基準点における水質は、非常に高い値を示した平成11年度以降は、たびたび基準を達成していませんでしたが、平成19、20年度と環境基準を達成しています。

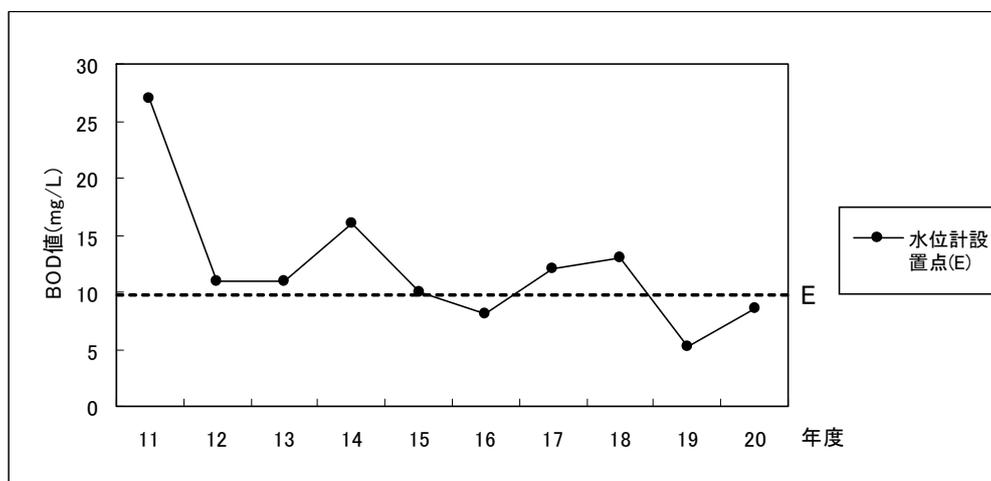


図8 報得川の水質 (BOD 75 % 値) 経年変化

#### ケ 牧港川

牧港川は、西原町を源とする牧港川と宇地泊川がそれぞれ、浦添市、宜野湾市を経て国道58号線の付近で合流後牧港湾に注ぐ、流域面積12km<sup>2</sup>、延長11kmの河川であり、昭和55年度にC類型 (BOD 5mg/L) に指定しています。

環境基準点における水質は、牧港川取水場跡では過去10年間環境基準を達成していませんが、宇地泊川取水場跡では平成10年度以降、環境基準を達成しています。

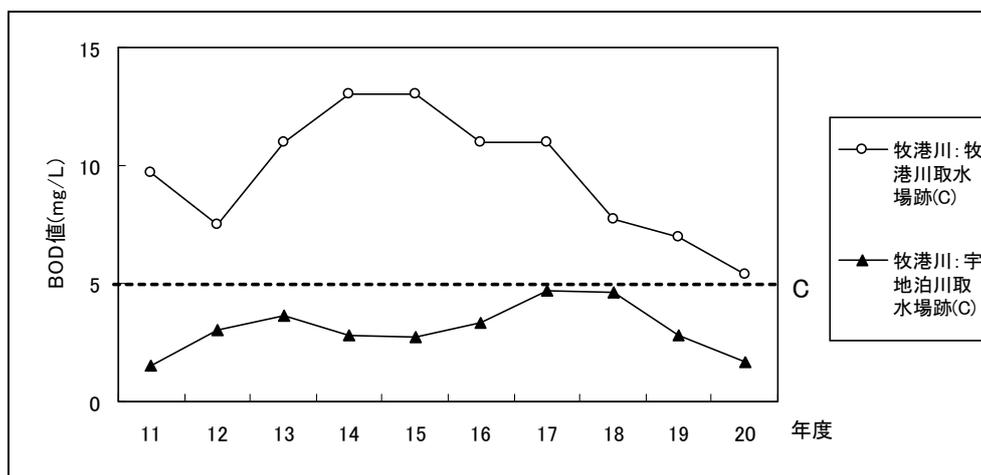


図9 牧港川の水質 (BOD 75 % 値) 経年変化

コ 饒波川

饒波川は、南城市大里字大里を源とし、八重瀬町、南風原町、豊見城市の各市町村を經由して国場川に合流する流域面積13.4km<sup>2</sup>、延長11kmの河川で、昭和58年度にD類型 (BOD 8mg/L) に指定しています。

環境基準点における水質は、平成12年度以降継続して環境基準を達成しています。

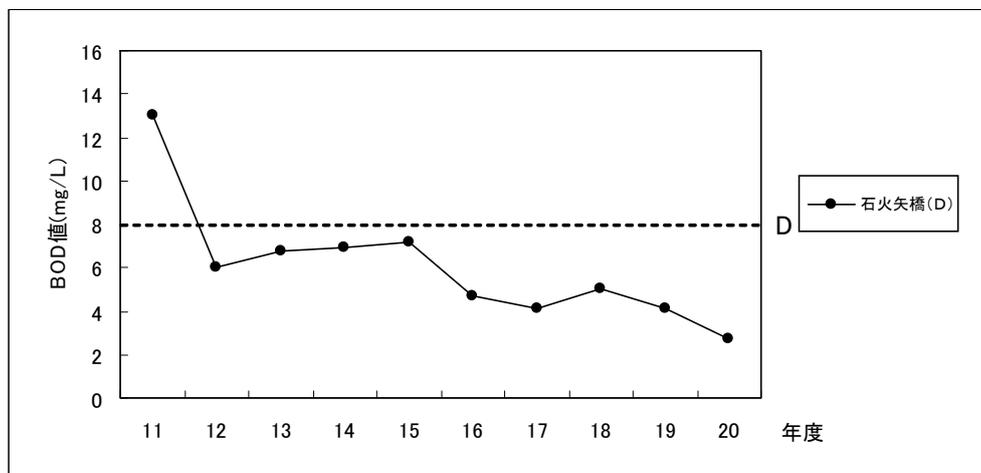


図10 饒波川の水質 (BOD 75 % 値) 経年変化

サ 源河川・平南川・大保川

源河川は、名護市字源河の大湿帯と一ツ岳に源を発し、源河集落内を経て東シナ海に注ぐ、流域面積20km<sup>2</sup>、延長13.5kmの河川で、昭和62年度にA類型に指定しています。

環境基準点における水質はきわめて良好な状態で安定的に推移しており、類型指定以降、環境基準を達成しています。

平南川は、名護市と大宜味村に連なる山岳地帯を源として東シナ海に注ぐ流域面積10.8 km<sup>2</sup>、延長6.1kmの河川で平成元年度にA類型に指定しています。

環境基準点における水質は、大保川、平南川の両河川とも過去10年間継続して環境基準を達成しています。

大保川は、本島北部の大宜味村を源として東シナ海に注ぐ流域面積23.6km<sup>2</sup>、延長9.6kmの河川で、平成元年度にB類型（BOD 3mg/L）に指定していましたが、平成16年度以降、A類型（BOD 2mg/L）としています。

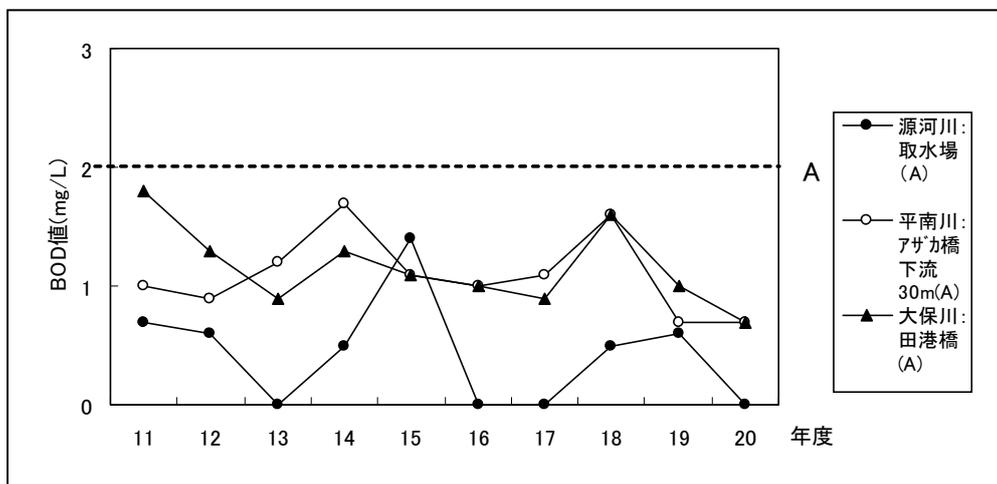


図11 源河川・平南川・大保川の水質（BOD 75 % 値）経年変化

#### シ 宮良川・名蔵川

宮良川は、石垣島の於茂登山系に源を發し南下して宮良湾に注ぐ流域面積35.4 km<sup>2</sup>、延長12km の河川で河口付近にマングローブが繁茂する石垣島最大の河川で、平成元年度にA類型（BOD 2mg/L）に指定しています。

環境基準点における水質は、平成12年度以降、環境基準を達成しています。

名蔵川は、於茂登山系に源を發し、名蔵平野を流下して名蔵湾に注ぐ流域面積16.1km<sup>2</sup>、延長4.5kmの河川で、河口付近は「アンパル」と呼ばれる広大な泥湿地帯となっており、マングローブ林が発達しています。平成元年度に宮良川と同様にA類型に指定しています。

環境基準点における水質は、平成8年度から平成11年度までは環境基準を超過していますが、平成12年度以降、環境基準を達成しています。なお、宮良川、名蔵川の平成11年度の値が高いのは、採水時に使用した消毒用アルコールの影響によるものです。

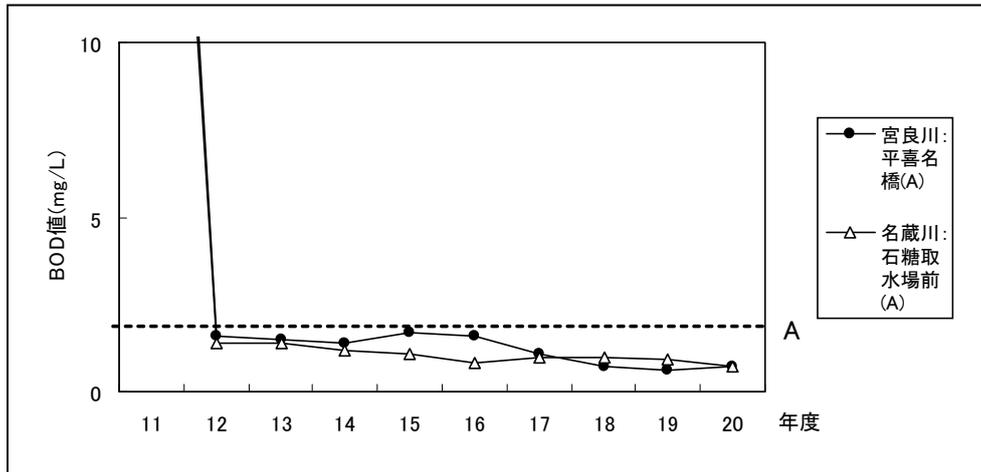


図12 宮良川・名蔵川の水質 (BOD 75 % 値) 経年変化

ス 雄樋川

雄樋川は、南城市大里の大城ダムを源に、南城市玉城、八重瀬町を流れ、港川漁港に注ぐ河川で、平成8年度にD類型 (BOD 8mg/L) に指定しています。

平成9年度以降の環境基準の達成状況は、前川では平成15年度以降は環境基準を達成していますが、石川橋では平成16年度まで継続して基準を達成していないため、水域として環境基準を達成していませんでした。しかし、平成17、18、20年度と石川橋が環境基準値以下となり、環境基準を達成しています。

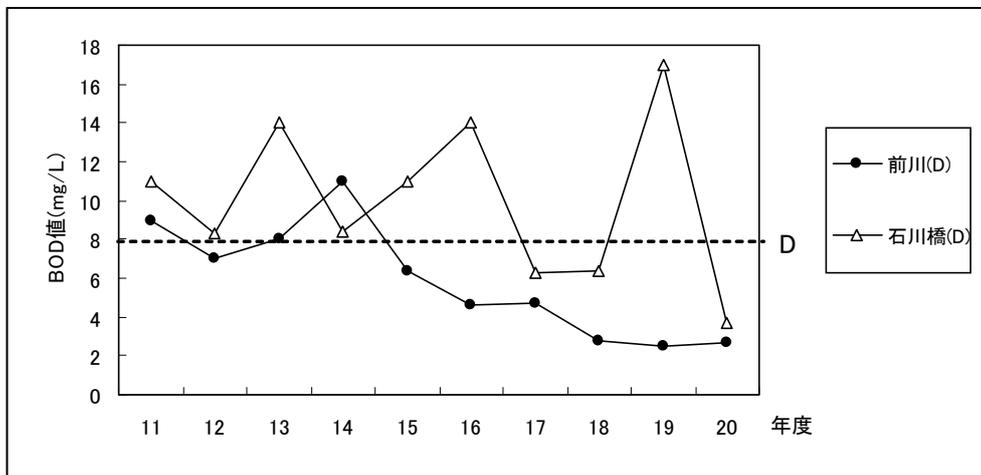


図13 雄樋川の水質 (BOD 75 % 値) 経年変化

セ 福地川・漢那川・羽地大川・新川川・安波川・普久川・辺野喜川

福地川、漢那川、羽地大川、新川川、安波川、普久川及び辺野喜川は、沖縄本島北部に位置し、上流は国管理ダム湖で、県民の水甕となっています。

福地川：太平洋に注ぐ流域面積34km<sup>2</sup>、延長16kmの河川で昭和49年度にA類型に指定。

漢那川：太平洋に注ぐ流域面積9km<sup>2</sup>、延長5kmの河川で昭和50年度に企業局取水点から

上流をA類型に指定。

羽地大川：羽地内海に注ぐ流域面積14km<sup>2</sup>、延長12kmの河川で昭和50年度にA類型に指定。

新川川：太平洋に注ぐ流域面積11.2km<sup>2</sup>、延長6.6kmの河川で昭和52年度にA類型に指定。

普久川：太平洋に注ぐ流域面積17.8km<sup>2</sup>、延長9.2kmの河川で昭和52年度に上流をA類型、  
下流をB類型に指定。平成16年度以降、下流をA類型に見直し。

安波川：太平洋に注ぐ流域面積25.1km<sup>2</sup>、延長13.5kmの河川で昭和52年度に上流をA類  
型、下流をB類型に指定。平成16年度以降、下流をA類型に見直し。

辺野喜川：東シナ海に注ぐ流域面積13.2km<sup>2</sup>、延長9.4kmの河川で昭和57年度にA類型に  
指定。

環境基準点における水質の経年変化は、図14から図17のとおりで、平成11年度の羽地大川  
を除いて、全ての地点で継続して環境基準を達成しています。

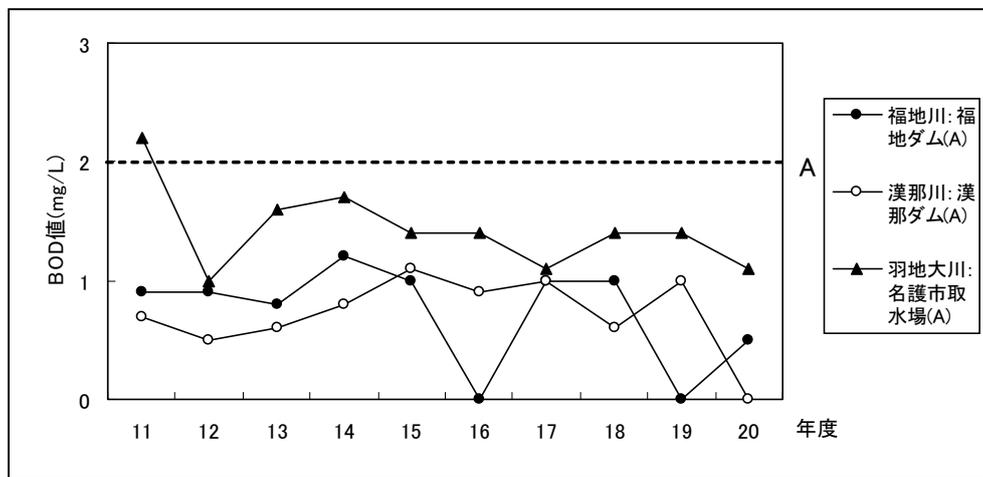


図14 福地川・漢那川・羽地大川の水質（BOD 75 % 値）経年変化

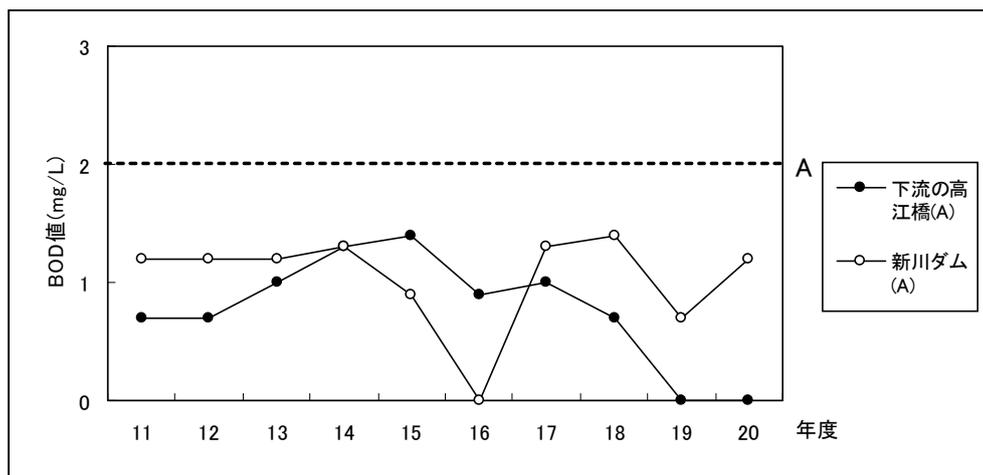


図15 新川川の水質（BOD 75 % 値）経年変化

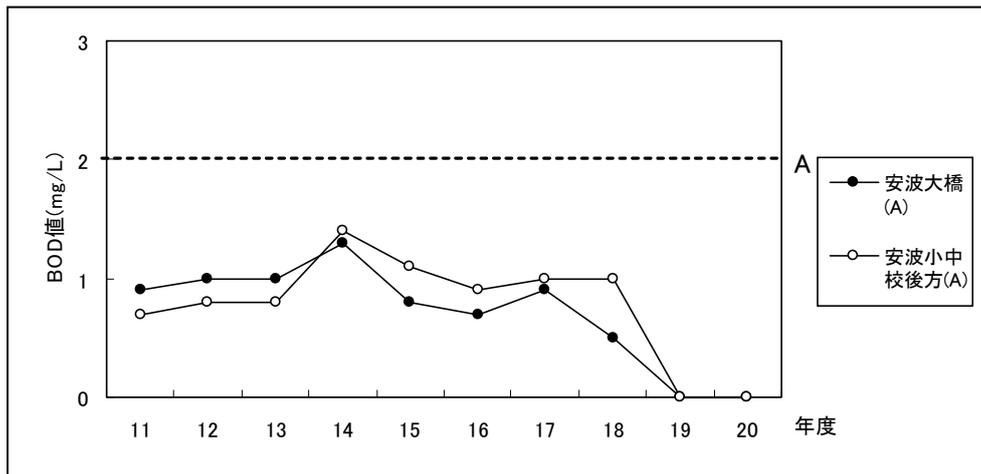


図16 安波川の水質（BOD 75 % 値）経年変化

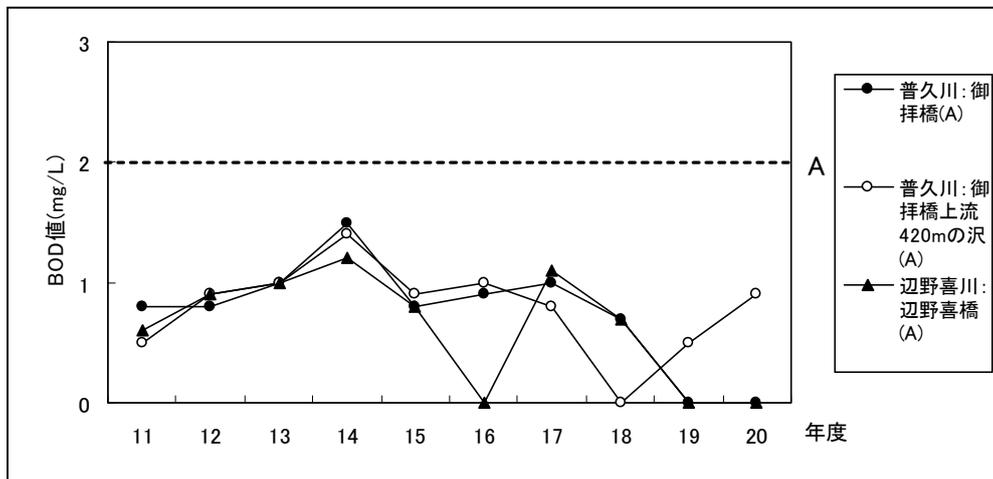


図17 福地川、辺野喜川、漢那川の水質（BOD 75 % 値）経年変化

## (5) 健康項目測定地点（海域）

番号	海 域 名	調査地点数
1	中 城 湾	1
2	与 勝 海 域	1
3	金 武 湾	1
4	那 覇 港 海 域	1
5	名 護 湾	1
6	平 良 港	1
7	与 那 覇 湾	1

番号	海 域 名	調査地点数
8	石 垣 港	1
9	川 平 湾	1
10	羽 地 内 海	2
11	糸 満 海 域	1
12	恩 納 海 域	1
13	伊 佐 海 域	1
合 計		14

## (6) 健康項目測定結果（海域）

測 定 項 目	検体数	環 境 基 準 不適合件数
カドミウム	14	0
全 シ ア ン	14	0
鉛	14	0
六 価 ク ロ ム	14	0
砒 素	14	0
総 水 銀	14	0
アルキル水銀	14	0
P C B	14	0
ジクロロメタン	14	0
四 塩 化 炭 素	14	0
1, 2-ジクロロエタン	14	0
1, 1-ジクロロエチレン	14	0
シス-1, 2-ジクロロエチレン	14	0

測 定 項 目	検体数	環 境 基 準 不適合件数
1, 1, 1-トリクロロエタン	14	0
1, 1, 2-トリクロロエタン	14	0
トリクロロエチレン	14	0
テトラクロロエチレン	14	0
1, 3-ジクロロプロペン	14	0
チ ウ ラ ム	14	0
シ マ ジ ン	14	0
チオベンカルブ	14	0
ベ ン ゼ ン	14	0
セ レ ン	14	0
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素	14	0
合 計	336	0

(7) 海域水質の環境基準達成状況

海域 No	水域 No	環境基準 類型指定 水域名	類 型	基 準 値	環 境 基 準 点	COD75%値(mg/L)									
						H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
1	1	中城湾	A	2	当添海岸	1.6	0.8	1.2	2.0	1.8	1.8	1.2	1.6	1.8	<b>2.8</b>
					湾内2	1.2	1.6	0.8	1.6	1.0	1.6	1.2	1.2	1.8	1.0
					湾内3	1.2	1.2	0.8	1.6	0.8	1.4	1.2	1.8	1.6	0.6
2	2	与勝海域	A	2	埋立地西海域	1.1	1.4	1.0	1.2	<0.5	<0.5	0.6	1.6	1.0	1.0
3	3	金武湾	A	2	天願川河口地先	1.5	0.8	1.2	1.0	<0.5	<0.5	0.8	1.0	2.0	0.9
					石川ビーチ沖	1.2	1.6	0.8	1.0	0.6	0.6	0.8	1.4	1.4	1.0
					湾口中央	0.8	1.2	0.8	1.0	<0.5	<0.5	0.6	1.4	0.9	0.6
4	4	那覇港海域	A	2	那覇港沖	0.8	1.4	1.4	0.7	1.0	1.4	1.3	1.5	1.8	0.5
					那覇港内	1.8	1.8	2.0	1.9	<b>2.1</b>	<b>2.1</b>	<b>2.5</b>	<b>3.7</b>	<b>3.2</b>	1.2
					那覇新港入口	0.8	1.6	1.4	0.8	1.1	1.4	1.2	1.5	1.6	0.8
					泊港内	1.4	1.8	1.8	1.3	1.8	<b>2.2</b>	<b>2.6</b>	<b>2.6</b>	1.8	2.0
					自謝加瀬東	0.8	1.2	1.2	1.6	1.3	1.2	0.7	2.0	<b>2.4</b>	0.6
5	5	名護湾	A	2	名護海岸	1.6	1.3	1.7	1.5	1.6	1.4	1.4	1.5	1.6	1.6
					湾内	1.4	1.2	1.1	1.1	1.5	1.4	1.5	1.2	1.4	1.7
					部間海岸	1.1	1.1	1.0	1.2	1.4	1.4	1.3	1.5	1.0	1.7
6	6	平良港	A	2	第3埠頭北岸から北300m	1.3	1.2	1.2	1.2	<0.5	1.0	1.0	1.0	1.8	1.0
7	7	石垣港	A	2	新栄町地区南西端西300m	<b>15</b> (1.3)	1.6	0.9	1.7	1.4	0.8	2.0	1.6	1.2	0.8
8	8	川平湾	A	2	小島南先端と双葉地先を結ぶ線上の中心点	<b>19</b> (1.5)	1.5	1.6	1.8	1.0	<0.5	2.0	1.4	1.2	0.8
9	9	羽地内海(1)	B	3	仲尾次漁港西埠頭から北西100m	2.1	2.0	1.9	1.7	2.1	1.7	1.7	1.8	1.8	1.8
					呉我船揚場から北へ400m	2.1	2.0	1.8	1.6	1.8	1.7	1.7	1.6	1.8	1.5
	10	羽地内海(2)	A	2	羽地内海中央	1.7	1.6	1.7	1.7	1.9	1.6	1.5	1.7	1.5	1.7
内海北水路南端	1.5				1.3	1.4	1.6	1.5	1.6	1.3	1.6	1.4	1.7		
10	11	糸満海域	A	2	糸満漁港	1.9	1.5	1.4	1.4	1.8	1.9	1.4	1.7	1.3	1.8
					糸満漁港沖	1.5	1.0	1.3	1.3	1.4	1.5	1.1	1.3	1.4	1.6
					岡波岩東	0.7	1.1	1.0	1.2	1.4	1.4	1.1	1.4	1.5	1.1
11	12	恩納海域	A	2	伊武部海岸地先	1.3	1.3	1.2	1.5	1.5	1.2	1.4	1.1	1.6	1.6
					恩納漁港地先	1.2	1.2	1.4	1.1	1.5	1.4	1.3	1.2	1.3	1.8
					富着海岸地先	1.3	1.2	1.3	1.2	1.5	1.3	1.3	1.3	1.7	1.7
					長浜海岸地先	1.4	1.4	1.3	0.9	1.5	1.4	1.4	1.2	1.7	1.6
環境基準未達成水域数						2	0	0	0	1	1	1	1	1	1
環境基準類型指定水域数						12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
達成率% (環境基準達成水域数/指定水域数×100)						83	100	100	100	92	92	92	92	92	92

\* 黒塗りは、環境基準未達成

\* 平成11年度における石垣港、川平湾の値が高いのは、採水時に使用した消毒用アルコールによるものと判明した。  
( ) は回帰式により求めた参考値を示したものである。

(8) 与那覇湾・伊佐海域の水質の経年変化

海域 No	水域 No	環境基準 類型指定 水域名	類 型	基 準 値	測定地点	COD75%値(mg/L)									
						H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
12	13	与那覇湾	-	-	松原地先	2.0	1.9	1.9	1.2	0.8	0.8	1.0	1.0	1.2	1.2
					沖縄製糖旧さん橋北端	3.7	2.4	3.5	1.6	2.0	2.0	0.8	1.2	2.8	2.0
					与那覇地先	3.4	3.0	2.8	1.0	1.8	0.8	0.8	1.2	1.6	2.2
13	14	伊佐海域	-	-	残波岬南	1.1	1.0	0.8	0.6	<0.5	<0.5	<0.5	1.0	1.1	1.5
					比謝川河口北	1.1	1.2	1.6	0.8	<0.5	0.6	0.6	0.8	1.4	1.7
					比謝川河口南	1.3	1.0	1.0	0.8	0.6	<0.5	0.8	1.0	1.4	1.9
					水釜地先	1.0	0.8	1.0	1.0	<0.5	<0.5	<0.5	1.0	1.4	1.8
					砂辺地先	1.0	0.8	1.0	0.8	<0.5	<0.5	0.8	0.9	1.4	1.8
					白比川地先	1.0	1.6	1.0	1.0	<0.5	0.6	0.6	1.0	1.4	1.7
					大山地先	1.1	1.2	1.0	0.8	0.6	0.6	0.8	1.0	1.4	1.8
					沖電地先	1.0	0.6	0.6	1.0	0.6	0.6	0.8	1.2	1.3	1.7
					港川地先	0.9	0.8	1.6	0.8	0.6	<0.5	0.6	1.0	1.5	1.9
					キャンプ・キンザー地先	1.0	1.0	1.4	0.6	0.6	0.6	0.6	1.2	1.7	1.8

(9) 各海域の概況及び水質

ア 中城湾

中城湾は、沖縄本島中南部の東海岸に位置し、勝連半島、津堅島、久高島及び知念半島に囲まれた面積約240km<sup>2</sup>の水域で、昭和49年には、重要港湾に指定されています。

昭和49年度にA類型（COD 2mg/L）に指定しており、環境基準点における水質は各地点とも継続して環境基準を達成していましたが、平成20年度は当添海岸において基準を達成しませんでした。

イ 与勝海域

与勝海域は、沖縄本島中部東側に位置し、平安座島、宮城島、伊計島、浜比嘉島及び勝連半島周辺の面積約66km<sup>2</sup>の金武湾に接した水域で、陸域には、石油貯蔵基地が立地しています。

昭和49年度にA類型に指定していますが、環境基準点における水質は各地点とも良好な状態を維持し、継続して環境基準を達成しています。

ウ 金武湾

金武湾は、金武岬と勝連半島に囲まれた面積約150km<sup>2</sup>の水域で、湾口は狭く湾奥に向かって入江を形成しており、湾口から湾中央にかけては水深が深いことから、周辺石油企業への原油等の運搬のために20万トン級のタンカー船が航行します。また、同湾は勝連半島と平安

座島間の海中道路、平安座島、宮城島及び伊計島で外海と隔てられており、海水の交換は、もっぱら湾口に頼っています。

環境基準は昭和49年度にA類型に指定していますが、環境基準点における水質は各地点とも良好な状態を維持し、継続して環境基準を達成しています。

#### エ 那覇港海域

那覇港海域は、那覇新港埠頭の伊奈武瀬から沖合いの自謝加瀬、千の瀬のサンゴ礁を経て那覇空港北岸に囲まれる面積約11km<sup>2</sup>の水域で、那覇港、泊港及び那覇新港が立地しており、背後には、那覇市街地が広がっています。

この水域は、昭和50年度にA類型に指定していますが、環境基準点における水質は、平成15～19年度において、那覇港内で基準を達成しませんでした。また、平成16～18年度においては泊港内、平成19年度は新たに自謝加瀬東で基準を達成しませんでした。しかし、平成20年度はすべての地点において環境基準を達成しています。

#### オ 名護湾

名護湾は、沖縄本島北部西海岸に位置し、部瀬名岬と本部半島を結ぶ海岸線に囲まれた面積約47.6km<sup>2</sup>の水域で湾奥には名護市の市街地域が広がっています。また、名護市世富慶以南は昭和47年に沖縄海岸国定公園に指定されています。

昭和50年度にA類型に指定していますが、環境基準点における水質は各地点とも良好に推移し、環境基準を継続して達成しています。

#### カ 平良港

平良港は、宮古島西方に位置し、平良市の市街地に面しています。

この水域は昭和52年度にA類型に指定していますが、環境基準点における水質は良好に推移し、環境基準を継続して達成しています。

#### キ 石垣港、川平湾

石垣港は、石垣島南部に位置し、面積約19km<sup>2</sup>の海域で石垣市街地に面し、八重山地域の流通港としての中核をなしています。環境基準は昭和52年度にA類型に指定しています。

川平湾は、石垣島北西に位置する風光明媚な入江で、昭和49年度に水産資源保護法に基づいて、水産動物の繁殖、保護、培養のために必要な措置を講ずるべき保護水面として指定され、水産海洋研究センター石垣支所（旧：県水産試験場八重山支場）による調査、研究のほか民間会社による黒真珠の養殖が行われています。石垣港と同様に昭和52年度にA類型に指定しています。

両海域の環境基準点における水質は、概ね良好な状態で推移していますが、平成11年度は両海域とも極端に値が高くなっています。これは採水時に使用した消毒用アルコールの影響

によるものです。平成12年度以降は、両海域とも継続して環境基準を達成しています。

#### ク 羽地内海

羽地内海は、沖縄本島北部海岸に位置し、本部半島及び屋我地島に囲まれた面積約12km<sup>2</sup>の風光明媚な内海で、沖縄海岸国定公園及び国設鳥獣保護区に指定されています。

昭和57年度に湾奥部の羽地内海、我部祖河川の河口域をB類型（COD 3mg/L）に、その他をA類型に指定していますが、環境基準点における水質は、各地点とも良好に推移しており環境基準も継続して達成しています。

#### ケ 糸満海域

糸満海域は、本島南部海岸に位置した海域で、糸満市糸満から潮平にかけての西側約274 km<sup>2</sup>を埋立て、糸満臨海工業団地、中小企業団地、沖合側の漁港後背地には水産食品加工団地が建設されているほか、埋め立て地北側は新興住宅地となっています。

昭和61年度にA類型に指定していますが、環境基準点における水質は各地点とも良好に推移しており、環境基準を継続して達成しています。

#### コ 恩納海域

恩納海域は、本島北部西海岸に位置し、30数キロに及ぶ風光明媚な海岸線は、白い砂浜とエメラルド色に輝く海、切り立った海蝕崖など変化に富み、昭和47年に沖縄海岸国定公園に指定されています。また、一帯は沖縄を代表する観光・リゾート地として賑わっており、関連施設が数多く立地しています。

平成6年度にA類型に指定していますが、環境基準点における水質は各地点とも良好に推移し、環境基準を継続して達成しています。

#### サ 与那覇湾・伊佐海域

閉鎖性海域である宮古島の与那覇湾、並びに牧港・宇地泊川からの生活排水や事業場排水の流れ込む沖縄本島中部西海岸の伊佐海域は、環境基準の類型指定を行っておりませんが、水質の状況を把握するために与那覇湾3地点、伊佐海域10地点で水質測定を実施しています。

水質の状況は、与那覇湾では若干汚濁が懸念されますが、伊佐海域では各地点ともCOD 2mg/L以下と良好な結果となっています。

(10)平成20年度 主要水浴場水質調査結果

番号	(ふりがな) 水浴場名	調査月 日	遊						泳						期						間						中		判定
			ふん/便性 大腸菌群数 (個/100mL)		COD (mg/L)		pH		透明度 (m)		油膜の有無		病原性 大腸菌 0-157		判定		COD (mg/L)		pH		透明度 (m)		油膜の有無		病原性 大腸菌 0-157		H20	H19	
			最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	最小	最大	最小	最大	平均	最小	最大	最小	最大	最小	最大	最小	最大	最小	最大	平均	最小	最大	
1	奥前	4/16 4/21	<2	<2	1.1	1.6	0.6	<0.5	<0.5	<0.5	8.1	8.2	>1	>1	>1	水質A	水質A	<0.5	1	0.7	8.1	8.1	>1	>1	>1	無	不検出	水質A	水質A
2	エメラルド	4/16 4/21	<2	4	1.1	1.6	<0.5	<0.5	<0.5	8	8.2	>1	>1	>1	水質A	水質A	<0.5	3	1.2	8	8.1	>1	>1	>1	無	不検出	水質A	水質A	
4	かりゆし	4/16 4/21	<2	2	1	1.6	<0.5	<0.5	<0.5	8.1	8.2	>1	>1	>1	水質A	水質A	<0.5	1.6	1.1	8.1	8.1	>1	>1	>1	無	不検出	水質A	水質A	
5	ブテナ	4/16 4/21	<2	6	0.8	1	<0.5	<0.5	<0.5	8.1	8.2	>1	>1	>1	水質A	水質A	<0.5	0.8	0.7	8.1	8.2	>1	>1	>1	無	不検出	水質A	水質A	
6	21世紀の森	4/16 4/21	<2	40	1.2	1.8	<0.5	<0.5	<0.5	8	8.1	>1	>1	>1	水質A	水質A	<0.5	1.2	0.9	8.1	8.2	>1	>1	>1	無	不検出	水質A	水質A	
8	万座	4/30 5/12	<2	<2	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	8.2	8.4	>1	>1	>1	水質A	水質A	<0.5	<0.5	<0.5	8.2	8.2	>1	>1	>1	無	不検出	水質A	水質A	
9	リザン シーパーク	4/30 5/12	<2	2	0.6	0.6	<0.5	<0.5	<0.5	8.2	8.5	>1	>1	>1	水質A	水質A	<0.5	0.6	0.6	8.2	8.2	>1	>1	>1	無	不検出	水質A	水質A	
10	サンマリーナ	4/30 5/12	<2	10	0.6	0.6	<0.5	<0.5	<0.5	8.2	8.4	>1	>1	>1	水質A	水質A	<0.5	0.6	0.6	8.1	8.2	>1	>1	>1	無	不検出	水質A	水質A	
12	ムーン	4/30 5/12	<2	4	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	8.2	8.3	>1	>1	>1	水質A	水質A	<0.5	0.9	0.7	8.1	8.2	>1	>1	>1	無	不検出	水質A	水質A	
13	ルネッサンス	4/30 5/12	<2	2	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	8.2	8.4	>1	>1	>1	水質A	水質A	<0.5	1	0.7	8.2	8.2	>1	>1	>1	無	不検出	水質A	水質A	
14	伊計	4/30 5/12	<2	2	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	8.1	8.4	>1	>1	>1	水質A	水質A	<0.5	<0.5	<0.5	8.2	8.3	>1	>1	>1	無	不検出	水質A	水質A	
15	諏訪村菅 野原	4/30 5/12	<2	2	0.5	0.5	<0.5	<0.5	<0.5	8.2	8.4	>1	>1	>1	水質A	水質A	<0.5	0.5	1.1	8.1	8.2	>1	>1	>1	無	不検出	水質A	水質A	
16	ニライ	4/30 5/12	<2	<2	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	8.1	8.4	>1	>1	>1	水質A	水質A	<0.5	0.6	1	8.1	8.2	>1	>1	>1	無	不検出	水質A	水質A	
17	宜野湾 トロピカル	4/30 5/12	<2	<2	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	8.2	8.4	>1	>1	>1	水質A	水質A	<0.5	1	0.7	8.1	8.1	>1	>1	>1	無	不検出	水質A	水質A	
18	サンセット	4/30 5/12	<2	<2	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	8.2	8.4	>1	>1	>1	水質A	水質A	<0.5	0.8	1	8.1	8.2	>1	>1	>1	無	不検出	水質A	水質A	

(10)平成20年度 主要水浴場水質調査結果

番号	(ふりがな) 水浴場名	調査月 日	遊						泳						期						間						中		判定					
			ふん/便性 大腸菌群数 (個/100mL)		COD (mg/L)		pH		透明度 (m)		油膜の有無		病原性 大腸菌 0-157		判定		調査月 日		ふん/便性 大腸菌群数 (個/100mL)		COD (mg/L)		pH		透明度 (m)		油膜の有無			病原性 大腸菌 0-157				
			最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	最小	最大	最小	最大	平均	最小	最大	H20	H19	最小	最大	平均	最小	最大	最小	最大	最小	最大		平均	最小	最大		
19	なみの上 波の上	4/14 4/30	<2	14	5	<0.5	1.2	0.7	8	8.2	>1	>1	>1	平均	無	不検出	水質A	水質A	8/4 8/21	<2	10	3	<0.5	1	0.7	8.1	8.3	>1	>1	>1	無	不検出	水質A	水質A
20	あいはら 新原	4/22 5/7	<2	130	34	<0.5	1.4	0.8	7.8	8.2	>1	>1	>1	平均	無	不検出	水質A	水質A	7/10 8/5	<2	<2	<2	0.6	1.6	1.1	8	8.6	>1	>1	>1	無	不検出	水質AA	水質A
22	イーブ	4/14 4/15	<2	<2	<2	<0.5	1.4	1	8	8.1	>1	>1	>1	平均	無	不検出	水質AA	水質AA	7/28 7/29	<2	<2	<2	<0.5	1.2	0.8	8.2	8.5	>1	>1	>1	無	不検出	水質AA	水質AA
23	まきはま 前浜	4/22 5/22	<2	<2	<2	<0.5	0.6	0.6	8	8.1	>1	>1	>1	平均	無	不検出	水質AA	水質AA	7/1 8/5	<2	<2	<2	<0.5	0.6	0.6	8	8.4	>1	>1	>1	無	不検出	水質AA	水質A
24	バイナガマ	4/22 5/22	<2	<2	<2	<0.5	1.1	0.7	8	8.1	>1	>1	>1	平均	無	不検出	水質AA	水質AA	7/1 8/5	<2	6	2	<0.5	1	0.7	8	8.3	>1	>1	>1	無	不検出	水質A	水質AA
25	さなま 砂山	4/22 5/22	<2	<2	<2	<0.5	1.4	0.9	8	8.2	>1	>1	>1	平均	無	不検出	水質AA	水質AA	7/1 8/5	<2	14	4	<0.5	1	0.9	8	8.4	>1	>1	>1	無	不検出	水質A	水質AA
26	ちご 底地	5/7 5/21	<2	<2	<2	<0.5	1	0.8	8.3	8.4	>1	>1	>1	平均	無	不検出	水質AA	水質AA	7/15 8/13	<2	<2	<2	<0.5	0.8	0.7	8	8.4	>1	>1	>1	無	不検出	水質AA	水質A
27	まきざと 真菜里	5/7 5/21	<2	2	<2	<0.5	0.6	0.6	8.2	8.4	>1	>1	>1	平均	無	不検出	水質AA	水質AA	7/15 8/13	<2	<2	<2	<0.5	1	0.7	8	8.3	>1	>1	>1	無	不検出	水質AA	水質AA
28	あざま サンサン	4/22 5/7	<2	2	<2	<0.5	1.2	0.9	7.7	7.8	>1	>1	>1	平均	無	不検出	水質AA	水質AA	7/10 8/5	<2	<2	<2	<0.5	1	0.7	8	8.4	>1	>1	>1	無	不検出	水質AA	水質A
29	アラハ	4/30 5/12	<2	<2	<2	<0.5	<0.5	<0.5	8.2	8.4	>1	>1	>1	平均	無	不検出	水質AA	水質AA	7/4 7/24	<2	130	34	0.6	0.9	0.7	8.2	8.2	>1	>1	>1	無	不検出	水質A	水質A
30	とらのがら 吉野海岸	4/22 5/22	<2	<2	<2	<0.5	<0.5	<0.5	8	8.1	>1	>1	>1	平均	無	不検出	水質AA	水質AA	7/1 8/5	<2	10	4	<0.5	1	0.7	7.6	8.4	>1	>1	>1	無	不検出	水質A	水質A
32	とらぎのみ 古瀬間味	4/14 4/21	<2	<2	<2	<0.5	1.2	0.8	8	8.1	>1	>1	>1	平均	無	不検出	水質AA	水質AA	8/4 8/11	<2	4	<2	<0.5	1.2	0.7	8.1	8.2	>1	>1	>1	無	不検出	水質AA	水質AA
33	びび 美々	4/22 5/7	<2	94	27	1	1.6	1.3	7.6	8	>1	>1	>1	平均	無	不検出	水質A	水質A	7/10 8/5	<2	<2	<2	<0.5	0.8	0.7	8	8.3	0.7	>1	0.93	無	不検出	水質A	水質B
34	あはら 阿波連	4/14 4/30	<2	<2	<2	<0.5	0.8	0.6	7.9	8.2	>1	>1	>1	平均	無	不検出	水質AA	水質AA	8/4 8/11	<2	2	<2	<0.5	1.2	0.7	8.1	8.1	>1	>1	>1	無	不検出	水質AA	水質AA
35	はら 西原さらさら	4/22 5/7	<2	52	16	<0.5	1.2	0.8	7.7	7.8	>1	>1	>1	平均	無	不検出	水質A	水質A	7/10 8/5	<2	18	6	<0.5	1.2	0.9	8	8.2	0.9	>1	0.95	無	不検出	水質A	水質B

## (11) 平成20年度に発生した魚類のへい死事故

No	通報年月日	発生地点			へい死魚		衛研の測定結果	
		水域名	市町村名	管轄	魚種	魚数(匹)	死因	備考
1	H20/04/23	与根第一遊水池 (通称三角池)	豊見城市	南部保	ボラ	60以上	急性中毒	検出物質：パラチオン ※クロツラヘラサギも死亡
2	H20/05/28	小那覇の水路	西原町	〃	ティラピア ボラ	1,000以上	不明	水質悪化による呼吸障害の可能性が推測されるが、死後時間が経過しているため、断定できず。
3	H20/06/02	与根第一遊水池 (通称三角池)	豊見城市	〃	ティラピア	10	不明	検体の状態より、死後の経過時間は長いものと思われる。
4	H20/06/18	中城湾(泊)	中城湾	中部保	ティラピア	100	呼吸障害	自然形成された水路に流され、水位が低下した時に発生したと考えられる。
5	H20/06/25	比謝川 (沖縄市松本)	沖縄市	〃	ティラピア	400~500	急性中毒	検出物質：メチダチオン (DMTP)
6	H20/07/08	〃	〃	〃	ティラピア	100	不明	検体の状態より、死後の経過時間は長いものと思われる。
7	H20/07/10	港一丁目側溝	名護市	北部保	ボラ ハゼ ウナギ カニ	100 100 5 10	急性中毒	検出物質：クロルピリホス
8	H20/07/31	稲国川	西原町	南部保	ティラピア	300	呼吸障害	河川水位の低下により発生。
9	H20/08/20	真嘉比川	那覇市	中央保	ティラピア	500	不明	死因に結びつく情報は得られず。 死後経過時間は短い。
10	H20/09/24	宮平川	南風原町	南部保	ティラピア ウナギ コイ	140 10 2	不明	水質悪化による呼吸障害の可能性が推測されるが、死後時間が経過しているため、断定できず。
11	H20/10/09	大井川支川	今帰仁村	北部保	ティラピア ウナギ ハゼ	1000以上 3 10	急性中毒	検出物質：ベンゾエピン トルクロホスメチル
12	H20/10/25	真喜屋用水路	名護市	〃	ティラピア	20	急性中毒	検出物質：陰イオン界面活性剤 (消火剤由来) ※前日に付近で消火活動が行われている。
13	H20/12/12	億首川	金武町	〃	コイ うなぎ	17 2	急性中毒	検出物質：マラチオン フェントエート(PAP) EPN
14	H20/12/19	小波蔵の排水路	那覇市	中央保	ティラピア	200	呼吸障害	水の流入が途絶え、水位が低下したために発生したと考えられる。
15	H20/12/14	真喜屋海岸	名護市	北部保	ガーラの稚魚	大量	低水温	当日の最低気温：11.5℃
16	H20/12/23	新川	石垣市	八重山保	ティラピア ウナギ	50~100 1	不明	死因に結びつく情報は得られず。 死後経過時間は短い。
17	H20/12/24	大浦川	名護市	北部保	コイ ユゴイ ティラピア	5 30 3	急性中毒	検出物質：シフルトリン
18	H20/12/24	比謝川 (沖縄市越來・住吉)	沖縄市	中部保	ティラピア	100	呼吸障害	水質悪化に伴う酸素欠乏と推測される。
19	H21/01/19	比謝川 (沖縄市安慶田・照屋)	〃	〃	ティラピア	50	低水温	発生時期は低気温の状態が続いている (平均気温15℃以下)
20	H21/01/20	長堂川	南風原町	南部保	ティラピア プレコ	25以上 1	低水温	発生時期は低気温の状態が続いている (平均気温15℃以下)
21	H21/01/22	港川排水路	名護市	北部保	ティラピア		不明	低水温の影響も考えられるが、死後時間が経過しているため、断定できず。
22	H21/01/30	比謝川 (沖縄市松本)	沖縄市	中部保	ティラピア	100	呼吸障害	河川水の溶存酸素が低く、アンモニア態窒素濃度が高く検出された。
23	H21/02/17	天願川	うるま市	〃	ボラ ドロクイ	100	呼吸障害	干潮時に取り残され、河川水位が低下したときに発生したと考えられる。
24	H21/02/18	〃	〃	〃	コイ ウナギ	100 100	不明	ガラス様の白い粉末有り 死魚の発生原因とは考えにくい
25	H21/02/19	比謝川 (沖縄市安慶田・照屋)	沖縄市	〃	ティラピア	100~200	不明	死因に結びつく情報は得られず。 死後経過時間は短い。
26	H21/02/26	報得川	糸満市	南部保	ティラピア	30	不明	水質悪化による呼吸障害の可能性が推測されるが、死後時間が経過しているため、断定できず。

## (12) 県内の公共用水域で発生した魚類へい死事故の原因（過去5年分）

年 度	発生数	発生原因及び発生数				
		急性中毒	急性中毒原因物質	呼吸障害	その他	不明
平成16年度	18	10	クレゾール5件、ベンズアルデヒド4件 メチダチオン(DMTP)1件	2	1	5
平成17年度	15	3	クレゾール1件、ベンゾエピン1件 (ベンゾエピン、PAP、EPN、アミトラズ)1件	5	4	3
平成18年度	16	3	ペルメトリン1件 (メチダチオン、フェニトロチオン) 1件 (メチダチオン、ジコホル、フェニトロチオン) 1件	2	0	11
平成19年度	10	2	メチダチオン1件、ペルメトリン1件	1	1	6
平成20年度	26	7	パラチオン1件、メチダチオン(DMTP)1件 (ベンゾエピン、トルクロホスメチル) 1件 (マラチオン、PAP、EPN) 1件、クロルピリポス1件 陰イオン界面活性剤1件、シフルトリン1件	6	3	10
計	85		25	16	9	35

(13) 水質汚濁に係る環境基準の水域類型指定状況

①河川

河川 No.	河川名	水域 No.	環境基準類型指定水域名	類型 (旧類型)	水域の範囲	達成期間	利用目的	環境基準点	指 定 年月日	※当初指定 年月日	
1	比謝川	1	比謝川(1)	B	比謝橋下流のえん堤からトニー橋までと長田川	ロ	上水道用水	比謝川ポンプ場	H16.3.30	S49.3.4	
		2	比謝川(2)	C	トニー橋から与那原川合流点まで	ロ	環境保全	トニー橋			
		3	比謝川(3)	C	D	与那原川合流点から上流とハンザ川の昭和橋まで	イ	工業用水			与那原川合流点
2	国場川	4	国場川(1)	C	明治橋から真玉橋まで	ロ	工業用水	那覇大橋	S49.3.4	S49.3.4	
		5	国場川(2)	E	真玉橋から上流の一日橋までと長堂川の翔南製糖取水せきまで	ハ	環境保全	真玉橋			
3	満名川	6	満名川(1)	A	B	伊野波川合流点から渡久地橋まで	イ		渡久地橋	S50.3.6	S50.3.6
		7	満名川(2)	A	伊野波川合流点から上流	ロ	農業用水	伊野波川合流点			
4	福地川	8	福地川	A	福地ダム及び福地川上流	イ	上水道用水	福地ダム	S50.3.6	S50.3.6	
5	天願川	9	天願川(1)	B	C	川崎ポンプ場えん堤から河口まで	イ	工業農業用水	河口	S50.9.18	S50.9.18
		10	天願川(2)	B	川崎ポンプ場えん堤より上流と川崎川上流カニカラン川合流点まで	ロ	上水道用水	合流点下流100m			
6	漢那川	11	漢那川	A	沖縄県企業局取水場跡から上流	イ	水道用水	漢那ダム	S51.3.18	S51.3.18	
7	羽地大川	12	羽地大川	A	川上橋下せきから上流	イ	水道農業用水	名護市取水点	S51.3.18	S51.3.18	
8	我部祖河川	13	我部祖河川(1)	A	喜知留川合流点から上流	イ	水道用水	石橋	S51.3.18	S51.3.18	
		14	我部祖河川(2)	A	D	喜知留川合流点から下流の奈佐田川合流点まで	イ	農業用水			奈佐田川合流点から上流100m
		15	我部祖河川(3)	A	奈佐田川全域	ロ	水道用水	奈佐田川合流点から支川上流100m			
9	新川川	16	新川川(1)	A	河口から新川ダムまで	イ	上水道用水	下流の高江橋	S52.4.25	S52.4.25	
		17	新川川(2)	A	新川ダムから上流	イ	水道用水	新川ダム			
10	安波川	18	安波川(1)	A	B	河口から安波小中学校後方えん堤まで	イ	環境保全	安波大橋	S52.4.25	S52.4.25
		19	安波川(2)	A	安波小中学校後方えん堤から上流	イ	自然環境保全	安波小中学校後方			
11	普久川	20	普久川(1)	A	B	安波川合流点から御拝橋上流400mの沢まで	イ	環境保全	御拝橋	S52.4.25	S52.4.25
		21	普久川(2)	A	御拝橋上流400mの沢から上流	イ	水道用水	御拝橋上流420mの沢			
12	汀間川	22	汀間川(1)	A	B	河口から三原小学校前えん堤まで	イ	環境保全	嘉手苜橋から上流200m	S52.4.25	S52.4.25
		23	汀間川(2)	A	三原小学校前えん堤から上流	イ	水道用水	三原小中学校前堰堤上流50mの橋			
13	久茂地川	24	久茂地川	C	E	全域	イ	環境保全	泉崎橋	S53.3.15	S53.3.15
14	安里川	25	安里川	D	E	全域	イ	環境保全	蔡温橋下流200mの橋	S53.3.15	S53.3.15
15	安謝川	26	安謝川	C	E	全域	イ	環境保全	安謝橋	S53.3.15	S53.3.15
16	報得川	27	報得川	E	川尻橋から上流	ロ	環境保全	水位計設置点	S54.4.9	S54.4.9	
17	牧港川	28	牧港川	C	宇地泊川合流点から上流の陽迎橋までと支川宇地泊川の比屋良川橋まで	イ	環境保全	牧港川取水場跡 宇地泊川取水場跡	S55.6.12	S55.6.12	
18	辺野喜川	29	辺野喜川	A	辺野喜橋から上流	イ	水道用水	辺野喜橋	S57.7.12	S57.7.12	
19	饒波川	30	饒波川	D	全域	ハ	農業用水	石火矢橋	S58.7.21	S58.7.21	
20	源河川	31	源河川	A	全域(支川も含む。)	イ	水道用水	取水場	S63.3.25	S63.3.25	
21	平南川	32	平南川	A	全域(支川も含む。)	イ	水道用水	アザカ橋下流30m	H1.4.25	H1.4.25	
22	大保川	33	大保川	A	B	大保大橋から上流全域(支川も含む。)	イ	水道用水	田港橋	H1.4.25	H1.4.25
23	宮良川	34	宮良川	A	支川を含む全域(底原ダムを除く。)	イ	水道用水	平喜名橋	H2.1.16	H2.1.16	
24	名蔵川	35	名蔵川	A	支川を含む全域	イ	水道用水	石糖取水場前	H2.1.16	H2.1.16	
25	雄樋川	36	雄樋川	D	全域(支流も含む。)	ロ	農業用水 環境保全	前川	H9.2.28	H9.2.28	
						石川橋					

※水域名下線表記地点は、平成16年度から上位の類型に見直しを行った水域

②海域

海域No.	水域No.	環境基準類型指定水域名	類型	水域の範囲	達成期間	利用目的	環境基準点	指定期年月日
1	1	中城湾	A	勝連半島から南部知念半島に至る沿岸と沖合の離島久高島、津堅島に囲まれた全域	イ	水産資源水浴	当添海岸 北緯26° 11' 東経127° 47'	S50.3.6
							湾内2 北緯26° 16' 東経127° 50'	
							湾内3 北緯26° 12' 東経127° 50'	
2	2	与勝海域	A	勝連崎、北緯26° 16' 東経128° 01'、北緯26° 25' 東経128° 01'、北緯26° 25' 東経128°、北緯26° 22' 東経127° 56'、東経127° 56'・海中道路との交差点を結ぶ線と海中道路、勝連半島に囲まれた全域	イ	水産資源水浴	埋立地西海岸 北緯26° 22' 東経127° 57'	S50.3.6
3	3	金武湾	A	海中道路、海中道路・東経127° 56'、北緯26° 22' 東経127° 56'、北緯26° 25' 東経128° の各点と金武岬を結ぶ線とその沿岸に囲まれた全域	イ	水産資源水浴	天願川河口地先 北緯26° 22' 東経127° 53' 石川ビーチ沖 北緯26° 25' 東経127° 50' 30" 湾口中央 北緯26° 25' 東経127° 58'	S50.3.6
4	4	那覇港海域	A	安謝埋立地北側先端、北緯26° 14' 30" 東経127° 39' 30" (自謝加瀬)、北緯26° 13' 東経127° 38' 30" (浅ノ瀬)、北緯26° 12' 30" 東経127° 38' 30" (儀間ノ瀬)、北緯26° 12' 30"・陸地との交差点の各点を結ぶ線とその沿岸に囲まれた海域	ロ	港湾水産資源	那覇港沖 北緯26° 13' 15" 東経127° 39' 25"	S51.3.18
							那覇港内 北緯26° 12' 20" 東経127° 40' 20"	
							那覇新港入口 北緯26° 13' 50" 東経127° 40' 45"	
							泊港内 北緯26° 13' 15" 東経127° 41' 05"	
							自謝加瀬東 北緯26° 14' 30" 東経127° 39' 45"	
5	5	名護湾海域	A	部瀬名岬と名護市と本部町の境界を結ぶ線とその沿岸に囲まれた海域	イ	水産資源	名護海岸 北緯26° 35' 00" 東経127° 58' 30"	S51.3.18
							湾内 北緯26° 34' 00" 東経127° 57' 00"	
							部間海岸 北緯26° 36' 00" 東経127° 54'	
6	6	宮古海域 平良港海域	A	北緯24度48分48秒、東経125度17分を中心とする半径3.5kmの円内の海域	ロ	港湾水産資源水浴	第3埠頭北端から北へ300m 北緯24° 48' 25" 東経125° 16' 34"	S52.4.25
7	7	八重山海域 石垣港海域	A	川ハナ三角点(北緯24度20分48秒、東経124度8分52秒)から方位角253度10分の向きに距離420mの地点を中心とする半径3.8kmの円内の海域	ロ	港湾水産資源水浴	浜崎地区南埠頭埋立予定地から西へ300m 北緯24° 20' 03" 東経124° 08' 38"	S52.4.25
8	8	川平湾海域	A	点イと点ロを結ぶ直線、点ハと基点2を結ぶ直線及びその沿岸に囲まれた海域	イ	水産資源	小島南先端と双葉地先を結ぶ線上の中心点 北緯24° 27' 00" 東経124° 08' 50"	S52.4.25
9	9	羽地内海 (1)	B	沖縄本島沿岸、奥武橋、奥武島沿岸、直線A1及び直線A2に囲まれた区域	ロ	水産資源	仲尾次漁港西埠頭から北西100m 北緯26° 37' 30" 東経128° 01' 40"	S57.6.3
							呉我船揚場から北400m 北緯26° 37' 45" 東経128° 00' 30"	
9	10	羽地内海 (2)	A	沖縄本島沿岸、直線A1、直線A2、奥武島、屋我地大橋、屋我地島沿岸及び直線Bに囲まれた区域	イ	水産資源	羽地内海中央 北緯26° 38' 40" 東経128° 00' 45"	S57.6.3
							内海北水路南端 北緯26° 39' 25" 東経127° 59' 40"	

海域 No.	水域 No.	環境基準類型 指定水域 名	類型	水域の範囲	達成 期間	利用目的	環境基準点	指 定 年月日
10	11	糸満海域	A	北緯26° 09' 00" 東経127° 40' 11"、北緯26° 09' 00" 東経127° 38' 23"、北緯26° 06' 09" 東経127° 38' 23"、北緯26° 06' 09" 東経127° 39' 49" の各点を結ぶ線とその沿岸に囲まれた海域	イ	港湾 水産資源	糸満漁港 北緯26° 07' 33" 東経127° 39' 38"	S60.9.13
							糸満漁港沖 北緯26° 07' 24" 東経127° 39' 00"	
							岡波岩東 北緯26° 08' 15" 東経127° 38' 40"	
11	12	恩納海域	A	読谷村残波岬の北端、北緯26° 32' 29" 東経127° 54' 23" の点、名護市部瀬名岬の西端の各地点を結ぶ線とその沿岸に囲まれた海域	イ	水産資源 水浴	伊武部海岸地先 北緯26° 31' 30" 東経127° 55' 42"	H6.4.22
							恩納漁港地先 北緯26° 30' 00" 東経127° 51' 26"	
							富着海岸地先 北緯26° 27' 08" 東経127° 48' 38"	
							長浜海岸地先 北緯26° 25' 21" 東経127° 44' 26"	

(備考)

1. 類型の欄のA,B,C,D及びEには、河川に係るものにあつては昭和46年12月28日付け環境庁告示第59号別表2の1の(1)アの河川の表の類型、海域に係るものにあつては同告示別表2の2アの表の類型を示す。
2. 達成期間の分類は次のとおりとする。  
「イ」は、直ちに達成  
「ロ」は、5年以内で可及的速やかに達成  
「ハ」は、5年を超える期間で可及的速やかに達成
3. 川平湾海域の基点及び点の位置  
基点1 石垣市宇川平地先 俗称 チャバンチキ離  
基点2 石垣市大字川平小字仲筋1131-8地先の岩  
点イ 基点1から123度9分412mの点  
点ロ 基点1から304度1分25mの点  
点ハ 基点2から352度36分42mの点
4. 羽地内海の直線  
「直線A1」とは奥武島南端から東経128度00分55秒と沖縄本島沿岸との交点(点イ)に引いた直線。  
「直線A2」とは点イから北緯26度38分と沖縄本島沿岸との交点に引いた直線。  
「直線B」とは点イから北緯26度40分45秒と沖縄本島沿岸との交点と東経128度00分43秒と屋我地島との交点を結ぶ直線。

(14) 水質汚濁防止法の特定事業場数（各保健所別）

No.	事業場名	中央保健所		南部保健所		中部保健所		北部保健所		宮古保健所		八重山保健所		小計													
		排水量 50m <sup>3</sup> /日 以上	有害 害																								
1	畜産農業又はサービスマン業の用に供する施設	1		4	84	1	8	46	1			2	16	7	153	1											
2	畜産食品製造業の用に供する施設	1		2	6	3	3	4						5	15												
3	水産食品製造業の用に供する施設	1		1	7	3	3	2					4	2	20												
4	野菜・果実を原料とする保存食品製造業の用に供する施設					1	1	3				1		2	6												
5	みそ・しょう油等製造業の用に供する施設	5		2	2	2	2	3						2	12												
7	砂糖製造業の用に供する施設	3		3	1	1	2	4				4		17	2												
8	パンもしくは菓子の製造業又は製あんぎ差の用に供する粗製あんの沈殿槽											3			3												
10	飲料製造業の用に供する施設	1		2	6	1	10	12				4	14	6	52												
11	動物系飼料又は有機質肥料の製造業の用に供する施設				1	1	1	4						1	5												
12	動物油脂製造業の用に供する施設					1	1							1	1												
16	めん類製造の用に供する湯煮施設	2		2	3	1	1	1						2	8												
17	豆腐・煮豆製造の用に供する湯煮施設	18		3	51	5	5	24				3		3	102												
18	インスタントコトヒー製造業の用に供する施設																										
18の2	冷凍調理食品製造業の用に供する施設					1	1							1	1												
19	繊維業又は繊維製品の製造業若しくは加工業の用に供する施設	4				1	1								5												
22	木材製品処理業の用に供する施設				1	1	1								3												
23	パルプ紙加工品製造業の用に供する施設					1	1							1	1												
23の2	新聞・出版・印刷・製版業の用に供する施設																										
27	無機化学工業製品製造業の用に供する施設					1	1							1	1												
49	農薬製造業の用に供する混合施設					1	1							1	1												
51	石油精製業の用に供する施設					1	1							1	1												
53	ガラス又はガラス製品の製造業の用に供する施設	3			65	7	7	2						1	1												
54	セメント製品製造業の用に供する施設	3													17												
55	生コンクリート製造業の用に供するパツチャープラント	8		1	10	12	12	11				1		2	42												
59	砕石業の用に供する施設					1	2	1						4	4												
60	砂利採取業の用に供する水洗式分別施設					2	2	1						3	4												
61	鉄鋼業の用に供する施設					1	1							1	1												
63	金属製品製造業又は機械器具製造業の用に供する施設					1	1							1	1												
63の2	石炭を燃料とする火力発電施設のうち、廃ガス洗浄施設					3	3							3	3												
64の2	水道施設・工業用水道施設・自家工業用水道の浄水施設（1万m <sup>3</sup> 以上）					1	1	2				1		3	4												
65	酸又はアルカリによる表面処理施設			2	1	1	1							3	2												
66の2	旅館業の用に供する施設	3		4	7	23	16	50			6	13	74	54	195												
66の3	共同調理場（500m <sup>2</sup> 以上）					2	2	1						3	3												
66の4	弁当仕出屋又は弁当製造業の用に供する厨房施設（960m <sup>2</sup> 以上）	1				1	1							1	1												
66の5	飲食店に設置されるちゅう房施設（420m <sup>2</sup> 以上）			2	1	3								5	1												
66の6	そば・うどん店等飲食店に設置されるちゅう房施設（630m <sup>2</sup> 以上）					1								1	1												
67	洗たく業の用に供する洗浄施設	18		2	10	4	4	12				1	3	7	65												
68	写真現像業の用に供する自動式フィルム現像洗浄施設	2				1	1							2	5												
68の2	病院（病床数300以上）			6	3	2	2					1	1	10	7	1											
69	と畜場又は死亡獣畜取扱業の用に供する解体施設	1		2								1		4	3												
70の2	自動車分解整備事業の用に供する洗車施設																										
71	自動車洗面洗浄施設	1		20	55		46					3		1	139												
71の2	科学技術に関する事業場の業務の用に供する施設	2		3	5	1	3	4				6	3	4	21	7											
71の3	一般廃棄物処理施設			1		2	2	2				1		3	2	5											
71の4	産業廃棄物処理施設			1		1	1							1	1												
72	し尿処理施設（500人以下のし尿浄化槽を除く）	7		53	7	58	2	6			11	3	18	2	153	2											
73	下水道終末処理施設	5		2		4	3	1			1			16	3	2											
74	特定事業場から排出される水の処理施設					1								1	1												
小計		24	2	119	95	4	277	2	120	19	142	19	216	4	25	1	44	1	465	1	137	3	326	27	923	10	
合計		143 (2)		372 (6)		262 (19)		232 (4)		69 (2)		182 (4)		1260 (87)													

注 1. 2つ以上の業種を兼業する特定事業場については代表業種に属すとみなし、1つとして計上。  
 2. 項目「有害」とは有害物質を排出するおそれがあるものの内数を表す。  
 3. 合計欄の（ ）は、有害物質を排出するおそれがあるものの内数を表す。

(15) 水質汚濁防止法に基づく改善命令等の発動状況

年 度	内 訳		命令後の状況
昭 50	改 善 命 令	生コンクリート製造業 1件	改善済み 2件
		電気メッキ業 1件	
昭 51	改 善 命 令	排水水の排出の 一時停止命令	改善済み 1件
		電気メッキ業 1件	
昭 52	改 善 命 令	電気メッキ業 1件	改善済み 2件
		と畜業 1件	
昭 53	改 善 命 令	検査業 1件	改善済み 2件
		写真現像業 1件	
昭 54～60	改 善 命 令	飲料製造業 1件	改善済み 9件
		畜産農業 2件	
		果実の保存食料製造業 6件	
昭61～平6	な し		
昭 61	改 善 命 令	電気メッキ業 1件	改善済み 1件
昭62～平6	な し		
平 7	改 善 命 令	食料品製造業 1件	改善済み 1件
平8～9	な し		
平 10	改 善 命 令	旅館業 1件	改善済み 1件
平11～20	な し		

## 4 化学物質関係（ダイオキシン類）

### (1)大気環境

調査地点		春	夏	秋	冬	4回平均値
		(pg-TEQ/m <sup>3</sup> )				
1	那覇市中央公園	0.0060	0.0034	0.0088	0.0043	0.0056
2	石垣市役所	0.0037	0.0037	0.0067	0.0024	0.0041
3	沖縄県北部合同庁舎	0.0030	0.0038	0.0059	0.0036	0.0041
4	沖縄市農民研修センター	0.016	0.033	0.039	0.023	0.028
5	南風原町社会福祉センター	0.013	0.0043	0.0090	0.0041	0.0076
6	宮古島市役所	0.0025	0.0027	0.0052	0.0023	0.0032

### (2)公共用水域(水質、底質)

調査地点		水質 (pg-TEQ/L)	底質 (pg-TEQ/g)
1	我部祖河川奈佐田川合流点から上流100	0.055	1.4
2	比謝川ヨナバル川合流点	0.32	4.9
3	国場川真玉橋	0.23	8.6
4	報得川水位計設置点	0.047	2.1
5	名蔵川石糖取水場前	0.32	0.43
6	那覇港海域泊港内	0.064	16

### (3)地下水

調査地点		地下水 (pg-TEQ/L)
1	南風原町 大名ヒージャーガー	0.11
2	糸満市 嘉手志ガー	0.016
3	南城市 前川樋川	0.033
4	八重瀬町 上ヌカー	0.11
5	与那原町 親川	0.015
6	南大東村 大盛商店	0.081
7	北大東村 中野字製糖工場内	0.017

### (4)土壌(一般環境、発生源周辺)

調査地点		土壌 (pg-TEQ/g)
一般環境	1 南風原町 宮城公園	8.5
	2 糸満市 西崎運動公園	0.69
	3 南城市 大里内原公園	2.8
	4 八重瀬町 町立東風平運動公園	0.71
	5 与那原町 ゆうゆう公園	4.1
	6 南大東村 国民運動場	0.081
	7 北大東村 総合グラウンド	0.10
発生源周辺	8 ① 旧美化センター工場跡	0.84
	9 ② 上里区コミュニティーセンター	4.4
	10 ③ 東辺名公民館	0.82
	11 ④ 山城集落センター	0.22
	12 ⑤ 福地公民館	0.0078
	13 ⑥ 喜屋武保育所	0.35
	14 ⑦ 喜屋武地先市有地	0.51
	15 ⑧ 平和創造の森公園	1.9

(参考)

環境基準

大気	公共用水域水質	公共用水域底質	土壌
0.6pg-TEQ/m <sup>3</sup> 以下	1pg-TEQ/L以下	150pg-TEQ/g以下	1,000pg-TEQ/g以下 (250以上)* *:調査指標値

## 5 騒音・振動・悪臭関係

(1)騒音規制法に基づく特定施設の届出状況

(平成20年度末現在)

特定施設 の種類	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	特 定 施 設 数	特 定 工 場 数
	金 属 加 工 機 械	空 気 圧 縮 機 等	土 石 用 破 砕 機 等	織 機	建 設 用 資 材 製 造 機 械	穀 物 用 製 粉 機	木 材 加 工 機 械	抄 紙 機	印 刷 機	合 成 樹 脂 用 射 出 成 形 機	鑄 造 型 製 造 機		
市町村													
名護市		73	3		1		2				1	80	16
うるま市	11	182			4	57	3					257	84
沖縄市	6	215	6		3	9	1				1	241	51
宜野湾市	13	119			2	18		2	12			166	64
浦添市	150	253			2		1		10			416	108
那覇市	42	1,433	1		6	28	136		34		2	1,682	312
豊見城市	11	22			7		6					46	22
南城市												0	0
糸満市	2	20	5	1	2		16	17	21			84	61
宮古島市												0	0
石垣市		3										3	1
本部町												0	0
嘉手納町		5										5	1
北谷町		1										1	1
西原町	14	82	1	1			8			2		108	20
南風原町		10										10	2
与那原町		2	2									4	1
八重瀬町												0	0
読谷村												0	0
北中城村		3					2					5	5
中城村	13											13	4
合計	262	2,423	18	2	27	112	175	19	77	2	4	3,121	753

## (2)沖縄県公害防止条例に基づく騒音に係る特定施設届出状況(その1)

(平成20年度末現在)

特定施設の種類	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	合計
	高速切断機	研磨機	液圧プレス	機械プレス	せん断機	空気圧縮機	クーリングタワー	製鋼用電気炉	エンジン	破砕機等	コンクリートプラント	アスファルトプラント	帯のこ盤	丸のこ盤	かんな盤	印刷機	その他	
市町村	事業所数	事業所数	事業所数	事業所数	事業所数	事業所数	事業所数	事業所数	事業所数	事業所数	事業所数	事業所数	事業所数	事業所数	事業所数	事業所数	事業所数	事業所数
名護市			1			27	5		24	3	1							61
	施設数		1			428	10		33	6	1							479
うるま市	5	1	2	1	2	76	6	3	34	6	3			2	3			144
	施設数	11	1	2	4	2	829	22	9	43	12	6		4	6			951
沖縄市	1	1	1			36	9		25	3	1		1	2	2			82
	施設数	1	1	1		363	13		28	5	1		1	6	4			424
宜野湾市	8					25	8		8									49
	施設数	13				276	18		8									315
浦添市	8					125	5		16		2		1	1	2			160
	施設数	9				495	13		34		2		2	3	6			564
那覇市	1					184	17		39				38	2	27			308
	施設数	2				2196	37		52				76	2	52			2417
豊見城市	3					10			5					1	2			21
	施設数	4				206			9					2	5			226
南城市						6	1		9	2	2							20
	施設数					33	1		8	7	2							51
糸満市	2	1	1			34	2		10	4	2	2		2	2	1	1	64
	施設数	2	1	2		178	2		13	10	2	2	6	8	7	9	1	243
宮古島市						36	8		34	8	9	4		1	1			101
	施設数					264	20		45	15	9	4		1	1			359
石垣市	1					12	2		21	1		1						38
	施設数	1				59	10		23	1		1						95
本部町						6	5	1	11	1	1							25
	施設数					76	31	4	15	3	1							130
金武町						5	1		2	1								9
	施設数					161	1		2	30								194
嘉手納町						16	3		10			1						30
	施設数					264	3		10			1						278
北谷町	2					7			7									16
	施設数	2				86			9									97
西原町	3	2	1		2	25	3		3	4	4	2		2				51
	施設数	4	2	2	3	169	9		5	10	4	2		3				213
南風原町			1			17	2	1	6	3	2		1					33
	施設数		2			285	14	1	10	4	2		1					319
与那原町						7			4									11
	施設数					35			6									41
八重瀬町						5	1		5	1	1							13
	施設数					43	4		5	1	1							54
久米島町	1					6	1		8		3			1				20
	施設数	1				30	2		9		3			1				46
竹富町						2	1		3									6
	施設数					8	1		7									16

## (2)沖縄県公害防止条例に基づく騒音に係る特定施設届出状況(その2)

(平成20年度末現在)

特定施設の種類	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	合計
	高速切断機	研磨機	液圧プレス	機械プレス	せん断機	空気圧縮機	クーリングタワー	製鋼用電気炉	エンジン	破砕機等	コンクリートプラント	アスファルトプラント	帯のこ盤	丸のこ盤	かんな盤	印刷機	その他	
市町村	事業所数	事業所数	事業所数	事業所数	事業所数	事業所数	事業所数	事業所数	事業所数	事業所数	事業所数	事業所数	事業所数	事業所数	事業所数	事業所数	事業所数	事業所数
与那国町	3								3									3
	施設数								3									3
伊平屋村									1									1
	施設数								1									1
伊是名村									1									1
	施設数								1									1
伊江村									2		1							3
	施設数								2		1							3
国頭村		1				2			7		1		1	1				13
	施設数	2				9			7		1		4	4				27
大宜味村						2			2		1							5
	施設数					7			2		1							10
東村									3									3
	施設数								3									3
今帰仁村							1		2									3
	施設数						1		2									3
宜野座村					5				2		1							8
	施設数				104				2		1							107
恩納村					8	1			9	2								20
	施設数				136	1			10	5								152
読谷村					14	3			7	3	1		2	2				32
	施設数				84	13			10	11	1		6	5				130
北中城村	3				13	1			4				2	1				24
	施設数	5			37	1			5				2	2				52
中城村	1				7	2			7		2							19
	施設数	4			21	8			7		2							42
粟国村					3	1			3									7
	施設数				5	7			5									17
渡名喜村					2	1			2									5
	施設数				5	7			6									18
座間味村					1				4									5
	施設数				1				4									5
渡嘉敷村					1				2									3
	施設数				4				2									6
北大東村					2	1			3									6
	施設数				6	11			8									25
南大東村					1				4		2							7
	施設数				1				4		2							7
多良間村					4	1			2		1	1						9
	施設数				7	5			6		1	1						20
合計	39	6	7	1	4	732	92	5	354	42	36	16	41	19	43	1	1	1,439
	施設数	59	7	10	4	5,911	265	14	464	120	39	16	86	42	92	9	1	8,144

## (2)騒音規制法に基づく特定建設作業の届出状況

(平成20年度)

市町村	名護市	うるま市	沖縄市	宜野湾市	浦添市	那覇市	豊見城市	南城市	糸満市	宮古島市	石垣市	本部町	嘉手納町	北谷町	西原町	南風原町	与那原町	八重瀬町	読谷村	北中城村	中城村	合計
くい打機等を使用する作業			2	2		17	3		4					1		1				26	5	61
びょう打機等を使用する作業	4																					4
さく岩機を使用する作業	2		14	5	1	29	3			5				10	1	7						77
空気圧縮機を使用する作業	3			1	1	12	1		1					4	1	2	3					29
コンクリートプラントを設けて行う作業				1																		1
バックホウを使用する作業	3		1	5	5	10	3	2	5	5	3			4		4	2					52
トラクターショベルを使用する作業																						0
ブルドーザーを使用する作業																						0
計	12	0	17	14	7	68	10	2	10	10	3	0	0	19	2	14	5	0	0	26	5	224

(4)平成20年度自動車交通騒音測定結果(市町村実施)その1

1	2	3	4		5	6	7	8	9	10		11		12		13		14		
			測定開始年月日	測定終了年月日						道路名	車線数	車道端からの距離	道路敷地境界からの距離	住居等からの距離	地上高さ	等価騒音レベル (dB)	要請限度値 (dB)		要請限度 達成状況 (○=達成、 ×=非達成)	環境基準
No.	測定地点	環境基準類型									昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間		
1	名護市宇字茂佐地内	B	H21.3.24	H21.3.25	国道449号線	2	2.5	0	6	1.2	69.5	61.4	75	70	○	○	70	65	○	○
2	沖縄市美里5-22-24	B	H21.2.9	H21.2.10	国道329号線	4	2.5	0	1.8	1.2	71.3	66.0	75	70	○	○	70	65	×	×
3	沖縄市高原4-4-3	B	H21.2.9	H21.2.10	国道329号線	4	2.4	0	2.9	1.2	67.3	63.1	75	70	○	○	70	65	○	○
4	沖縄市東1-1-8	C	H21.2.5	H21.2.6	国道75号線	4	2.8	0.2	1.0	1.2	66.5	62.4	75	70	○	○	70	65	○	○
5	沖縄市上地2-1-2	C	H21.2.5	H21.2.6	国道330号線	4	5.7	0.6	1.3	1.2	67.0	63.7	75	70	○	○	70	65	○	○
6	沖縄市知花1-19-3	B	H21.2.5	H21.2.6	国道16号線	3	4.0	0	5.0	1.2	66.9	60.8	75	70	○	○	70	65	○	○
7	沖縄市泡瀬4-12-10	B	H21.2.9	H21.2.10	国道85号線	4	7.0	0	5.0	1.2	68.2	61.0	75	70	○	○	70	65	○	○
8	北中城村字熱田40番地	B	H20.10.21	H20.10.22	国道329号線	4	1.0	0	1.0	1.2	73.0	69.0	75	70	○	○	70	65	×	×
9	北中城村字熱田84番地1	B	H20.10.21	H20.10.22	国道329号線	4	1.0	0	1.0	1.2	73.0	69.0	75	70	○	○	70	65	×	×
10	中城村南上原948	B	H21.1.27	H21.1.28	県道29号線	2	2.2	1.0	1.0	1.2	68.0	62.0	75	70	○	○	70	65	○	○
11	中城村伊舎堂647-5	B	H21.1.27	H21.1.28	国道329号線	4	1.5	1.0	3.0	1.2	70.0	62.0	75	70	○	○	70	65	○	○
12	北谷町吉原1188-1	B	H20.11.19	H20.11.20	県道24号線	2	3.0	2.0	0.5	1.2	68.0	63.0	75	70	○	○	70	65	○	○
13	北谷町上勢頭820-6	B	H20.11.19	H20.11.20	県道23号線	4	3.0	2.0	0.0	1.2	71.0	64.0	75	70	○	○	70	65	×	○
14	宜野湾市真栄原2-12-3	C	H20.11.7	H20.11.8	県道34号線	2	2.0	1.5	5.0	1.2	66.4	63.5	75	70	○	○	70	65	○	○
15	宜野湾市大山4-3-1	C	H20.11.7	H20.11.8	国道58号線	6	2.0	1.5	5.0	1.2	70.0	66.5	75	70	○	○	70	65	○	×
16	浦添市仲西1-6-1	C	H21.2.3	H21.2.4	国道58号線	6	3.6	0.0	2.0	1.2	70.0	66.0	75	70	○	○	70	65	○	×
17	浦添市西原1-12-15	C	H21.2.3	H21.2.4	県道241号線	4	2.0	0.0	3.0	1.2	66.0	62.0	75	70	○	○	70	65	○	○
18	浦添市城間4-1-3	A	H21.2.3	H21.2.4	学園通り線	2	2.5	0.0	2.7	1.2	65.0	60.0	75	70	○	○	70	65	×	×

(4)平成20年度自動車交通騒音測定結果(市町村実施)その2

1	2		3	4		5	6	7	8	9	10		11		12		13		14					
	No.	測定地点		環境基準類型	測定開始年月日						測定終了年月日	道路名	車線数	車道端からの距離	道路敷地境界からの距離	住居等からの距離	地上高さ	等価騒音レベル (dB)		昼間	夜間	要請限度値 (dB)	昼間	夜間
19	浦添市宮城6-12-6	C	H21.2.3	H21.2.4	県道251号線	2	3.5	0.0	3.1	1.2	67.0	64.0	75	70	70	70	70	65	70	65	○	○	○	○
20	那覇市首里末吉町1-187-1	B	H20.11.14	H20.11.15	県道82号線	4	3.4	0.0	7.7	1.2	70.0	66.0	75	70	70	70	70	65	70	65	○	○	○	×
21	那覇市上之屋1-18-37	C	H20.11.28	H20.11.29	市道天久安里線	4	5.0	0.0	10.0	1.2	66.0	64.0	75	70	70	70	70	65	70	65	○	○	○	○
22	那覇市赤嶺2-4-2	C	H20.12.19	H20.12.20	県道221号線	4	3.5	0.0	28.5	1.2	64.0	61.0	75	70	70	70	70	65	70	65	○	○	○	○
23	糸満市字阿波根1342-1	B	H20.12.18	H20.12.19	国道331号線	2	2.0	0.0	13.0	1.0	71.2	61.1	75	70	70	70	70	65	70	65	○	○	×	○
24	与那原町字与那原824番地	C	H21.2.19	H21.2.20	国道329号線	4	1.0	0.0	1.0	1.2	70.0	66.0	75	70	70	70	70	65	70	65	○	○	○	×
25	与那原町字与那原109番地	B	H21.2.19	H21.2.20	県道139号線	4	1.0	0.0	1.0	1.2	59.0	53.0	75	70	70	70	70	65	70	65	○	○	○	○
26	南風原町字津嘉山547番地	A	H21.3.11	H21.3.12	県道128号線	2	0.7	0.0	5.8	1.2	64.0	59.0	75	70	70	70	70	65	70	65	○	○	○	○
27	南風原町字宮平666-1番地	C	H21.3.11	H21.3.12	国道329号線	4	1.9	0.0	11.3	1.2	71.0	66.0	75	70	70	70	70	65	70	65	○	○	×	×
28	南風原町字兼城603番地	C	H21.3.11	H21.3.12	国道329号線	4	2.0	0.0	32.0	1.2	70.0	67.0	75	70	70	70	70	65	70	65	○	○	○	×

(5) 平成20年度自動車交通騒音測定結果(面的評価) その1

地点番号	評価対象道路				評価区間	測定地点の住所 ※2	測定地点の等価騒音レベル (dB) ※3		騒音測定年度	評価区間の延長 (km)	環境基準達成戸数(戸)・環境基準達成確率(%)									
	(1) 路線名	(2) 車線数	(3) 環境基準類型 ※1	(4) 遮音壁等の有無			(5) 低騒音舗装の有無	昼間			夜間	評価対象住居等戸数	昼間・夜間とも基準値以下		夜間のみ基準値超過		昼間のみ基準値超過		昼間・夜間とも基準値超過	
													(戸)	(%)	(戸)	(%)	(戸)	(%)	(戸)	(%)
1	沖縄北谷線	4	-	無	無	沖縄市山内～沖縄市南桃原	-	-	-	0.5	64	54	84.4	10	15.6	0	0.0	0	0.0	
2	沖縄北谷線	4	B	無	無	北谷町字上勢頭～北谷町字浜川	北谷町字上勢頭813	70	66	H18	2.2	271	230	84.9	41	15.1	0	0.0	0	0.0
3	浦添西原線	2	C	無	無	西原町字翁長～西原町字嘉手苅	西原町字棚原174-6	67	62	H18	2.9	622	622	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	浦添西原線	2	-	無	無	浦添市前田～西原町字翁長	-	-	-	0.6	119	119	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
5	浦添西原線	2	B	無	無	浦添市仲間～浦添市前田	那覇市首里石嶺町142-2	69	63	H18	2.5	847	847	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	沖縄石川線	2	C	無	無	うるま市字江洲～うるま市字安慶名	那覇市首里山川町63	66	63	H18	4.1	1,841	1,835	99.7	5	0.3	0	0.0	1	0.1
7	沖縄石川線	2	C	無	無	沖縄市宮里～沖縄市字美里	那覇市安里1-8	66	61	H18	1.5	477	477	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
8	那覇北中城線	2	A	無	無	西原町字上原～西原町字棚原	宜野湾市真栄原2-10	67	61	H18	1.8	329	329	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
9	那覇北中城線	2	-	無	無	西原町字翁長～西原町字幸地	-	-	-	2.0	338	338	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
10	那覇北中城線	2	B	無	無	西原町字幸地～那覇市首里汀良町	宜野湾市字我如古448	66	61	H18	1.2	530	528	99.6	0	0.0	0	0.0	2	0.4
11	那覇北中城線	2	B	無	無	那覇市首里汀良町～那覇市字安里	西原町字千原193-67	68	64	H18	2.6	1,443	1,443	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
12	那覇北中城線	4	C	無	無	那覇市字安里～那覇市泊	西原町字小橋川1448	66	61	H18	1.4	1,292	1,292	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
13	宜野湾西原線	4	C	無	無	宜野湾市大謝名～宜野湾市真栄原	浦添市前田2-6	66	63	H18	1.4	692	692	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
14	宜野湾西原線	4	B	無	無	宜野湾市真栄原～宜野湾市我如古	うるま市字宮里266-4	67	62	H18	0.9	509	508	99.8	0	0.0	0	0.0	1	0.2
15	宜野湾西原線	2	-	無	無	宜野湾市我如古～宜野湾市我如古	-	-	-	0.9	660	660	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
16	宜野湾西原線	2	A	無	無	西原町字森川～西原町字上原	沖縄市字美里812	69	65	H18	1.1	118	112	94.9	6	5.1	0	0.0	0	0.0
17	一般国道58号	6	C	無	有	北谷町字砂辺～北谷町字浜川	北谷町字浜川125	70	65	H17	1.2	160	160	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
18	一般国道58号	6	B	無	有	北谷町字浜川～北谷町字北谷	北谷町美浜5-1	71	68	H17	2.4	151	98	64.9	26	17.2	0	0.0	27	17.9
19	一般国道58号	6	C	無	有	北谷町字北谷～宜野湾市字伊佐	北谷町北前6-1	69	65	H17	1.8	206	206	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
20	一般国道58号	6	C	無	有	宜野湾市字伊佐～宜野湾市字宇地泊	宜野湾市大山2-22	73	68	H17	3.3	1,362	1,031	75.7	0	0.0	4	0.3	327	24.0
21	一般国道58号	6	C	無	有	浦添市屋富祖～浦添市牧港	浦添市城間4-35	70	68	H17	2.7	571	472	82.7	99	17.3	0	0.0	0	0.0
22	一般国道58号	6	C	無	有	浦添市勢理客～浦添市屋富祖	浦添市宮城1-27	71	67	H17	1.4	328	265	80.8	13	4.0	0	0.0	50	15.2
23	一般国道58号	4	C	無	有	宜野湾市伊佐～浦添市牧港	宜野湾市大山16-47	66	60	H17	4.2	655	652	99.5	0	0.0	1	0.2	2	0.3
24	一般国道330号	4	B	無	有	浦添市仲間～那覇市字古島	浦添市内間2-6	70	66	H17	2.4	682	463	67.9	28	4.1	57	8.4	134	19.6
25	一般国道330号	4	C	無	無	北中城村字安谷屋～宜野湾市普天間	宜野湾市普天間1-33	70	66	H17	0.6	188	140	74.5	48	25.5	0	0.0	0	0.0
26	一般国道330号	4	B	無	有	宜野湾市普天間～宜野湾市我如古	宜野湾市字愛知507	69	65	H17	5.1	1,873	1,734	92.6	0	0.0	115	6.1	24	1.3
27	一般国道330号	4	C	無	有	沖縄市中央～沖縄市城前町	沖縄市室川2-6	67	63	H17	1.4	926	926	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
28	一般国道330号	4	C	無	有	沖縄市山里～沖縄市中央	沖縄市園田3-5	64	60	H17	2.4	1,064	1,064	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
29	一般国道329号	4	B	無	有	沖縄市字池原～沖縄市知花	沖縄市登川1-9	69	62	H17	3.6	837	817	97.6	0	0.0	19	2.3	1	0.1
30	一般国道329号	4	B	無	有	沖縄市知花～沖縄市美里	沖縄市知花2-9	68	63	H17	2.6	1,152	1,152	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
31	一般国道329号	4	B	無	有	沖縄市美里～沖縄市大里	沖縄市宮里3-3	67	61	H17	1.8	721	721	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
32	一般国道329号	4	B	無	有	沖縄市大里～北中城村字渡口	沖縄市字与儀716-1	67	62	H17	3.0	641	594	92.7	0	0.0	4	0.6	43	6.7
33	一般国道329号	4	B	無	有	北中城村字渡口～北中城村字熱田	北中城村字和仁屋228-1	73	66	H17	1.7	227	111	48.9	0	0.0	81	35.7	35	15.4
34	一般国道329号	4	C	無	有	南風原町字与那覇～那覇市字上間	南風原町字宮平666-1	69	66	H17	1.9	545	435	79.8	110	20.2	0	0.0	0	0.0
35	一般国道329号	4	-	無	有	那覇市字上間～那覇市字上間	-	-	-	0.5	65	49	75.4	16	24.6	0	0.0	0	0.0	
36	一般国道329号	4	B	無	無	那覇市字仲井真～那覇市字上間	那覇市字仲井真263-10	63	57	H17	1.0	183	183	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
37	沖縄環状線	4	B	無	無	うるま市江洲～沖縄市美里	沖縄市松本855	65	59	H19	1.4	273	273	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
38	沖縄環状線	4	-	無	無	沖縄市美里～沖縄市美里	-	-	-	0.7	115	115	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
39	沖縄環状線	4	B	無	無	沖縄市松本～沖縄市山内	沖縄市諸見里2-1	71	63	H19	3.6	349	330	94.6	0	0.0	19	5.4	0	0.0
40	沖縄環状線	4	B	無	無	沖縄市山内～北中城村字比嘉	沖縄市山内2-26	67	59	H19	2.3	329	329	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
41	宜野湾北中城線	4	-	無	無	北中城村字安谷屋～北中城村字安谷屋	-	-	-	0.5	136	125	91.9	0	0.0	0	0.0	11	8.1	
42	宜野湾北中城線	2	B	無	無	北中城村字渡口～北中城村字安谷屋	北中城村字安谷屋1360-2	65	58	H19	2.2	618	526	85.1	3	0.5	0	0.0	89	14.4
43	奥武山米須線	4	-	無	有	那覇市山下町～那覇市垣花町	-	-	-	0.5	170	170	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
44	奥武山米須線	4	B	無	有	那覇市字小祿～那覇市山下町	那覇市字小祿414	67	64	H19	0.8	488	487	99.8	1	0.2	0	0.0	0	0.0
45	奥武山米須線	2	B	無	有	那覇市小祿～那覇市字小祿	那覇市小祿5-14	63	59	H19	1.0	282	282	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
46	奥武山米須線	2	-	無	無	豊見城市字豊見城～那覇市字宇栄原	-	-	-	0.7	205	205	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
47	奥武山米須線	2	-	無	無	那覇市字小祿～那覇市字小祿	-	-	-	0.7	385	384	99.7	0	0.0	0	0.0	1	0.3	
48	奥武山米須線	2	B	無	無	豊見城市字豊見城～那覇市字小祿	豊見城市豊見城116	67	62	H19	1.0	468	468	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
49	奥武山米須線	4	B	無	有	豊見城市字高安～豊見城市字豊見城	豊見城市字平良126-1	66	64	H19	0.6	162	162	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
50	奥武山米須線	2	B	無	無	糸満市字武富～豊見城市字高安	豊見城市宜保139	67	62	H19	1.8	591	591	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
51	奥武山米須線	4	-	無	無	糸満市字賀敷～糸満市字武富	-	-	-	1.8	139	139	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	

※1 環境基準類型のあてはめがない地点は「-」とし、Bの基準を当てはめた。

※2 「測定地点の住所」の欄に「-」の記載がある場合の「基準点の等価騒音レベル」の欄については、他の評価区間における測定結果を準用した。

※3 一般国道については道路環境センサスの測定結果を活用した。

(5) 平成20年度自動車交通騒音測定結果(面的評価) その2

地点番号	評価対象道路					評価区間	測定地点の住所 ※2	測定地点の 等価騒音レベル (dB) ※3		騒音測定年度	評価区間の 延長 (km)	環境基準達成戸数(戸)・環境基準達成確率(%)								
	(1)路 線 名	(2)車 線 数	(3)環 境 基 準 類 型 ※1	(4)遮 音 壁 等 の 有 無	(5)低 騒 音 舗 装 の 有 無			昼間	夜間			評価 対象 住居等 戸数	昼間・夜間とも 基準値以下		夜間のみ 基準値超過		昼間のみ 基準値超過		昼間・夜間とも 基準値超過	
													(戸)	(%)	(戸)	(%)	(戸)	(%)	(戸)	(%)
52	一般国道329号	2	-	無	有	うるまし市石川東恩納～うるまし市石川	-	-	-	-	2.7	958	958	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
53	一般国道329号	2	B	無	有	うるまし市石川赤崎～うるまし市石川赤崎	うるまし市石川赤崎2-2	64	57	H17	0.8	163	163	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
54	一般国道58号	4	-	無	有	嘉手納町字嘉手納～嘉手納町字嘉手納	-	-	-	-	0.4	135	110	81.5	0	0.0	0	0.0	25	18.5
55	一般国道58号	6	B	無	有	北谷町字砂辺～嘉手納町字嘉手納	嘉手納町字水釜327-1	71	66	H18	3.5	247	203	82.2	0	0.0	0	0.0	44	17.8
56	一般国道330号	4	B	無	有	北中城村字瑞慶賀～北中城村字比嘉	北中城村字屋原164-1	70	68	H18	1.6	106	40	37.7	21	19.8	0	0.0	45	42.5
57	一般国道330号	4	B	無	無	宜野湾市嘉数～宜野湾市嘉数	宜野湾市嘉数2-13	70	65	H18	0.6	159	96	60.4	0	0.0	0	0.0	63	39.6
58	一般国道58号	6	C	無	有	那覇市旭町～那覇市泊	那覇市東町2	67	64	H18	2.2	556	556	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
59	一般国道329号	4	C	無	有	那覇市字上間～那覇市字国場	那覇市字上間425	68	62	H18	0.8	439	439	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
60	一般国道329号	4	B	無	有	那覇市字国場～那覇市字国場	那覇市字国場121	69	64	H18	0.8	526	526	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
61	一般国道329号	4	C	無	有	那覇市古波蔵～那覇市泉崎	那覇市壺川3-4	67	62	H18	2.6	1,724	1,724	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
62	一般国道331号	6	B	無	有	那覇市垣花町～那覇市垣花町	那覇市奥武山町26-24	70	66	H17	0.6	39	25	64.1	13	33.3	0	0.0	1	2.6
63	一般国道331号	4	B	無	有	豊見城市字翁長～豊見城市字名嘉地	豊見城市字伊良波684	70	65	H18	2.6	343	343	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
64	一般国道331号	2	C	無	有	糸満市字糸満～糸満市字潮平	糸満市字糸満493	66	63	H18	2.9	887	886	99.9	0	0.0	0	0.0	1	0.1
65	沖縄嘉手納線	4	B	無	無	嘉手納町字嘉手納～嘉手納町字屋良	嘉手納町字屋良1057-2	65	59	H20	1.7	327	327	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
66	沖縄嘉手納線	4	-	無	無	沖縄市知花～沖縄市松本	-	-	-	-	0.7	68	68	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
67	沖縄嘉手納線	2	C	無	無	沖縄市松本～沖縄市知花	沖縄市松本5-20	67	60	H20	0.9	243	243	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
68	県道16号線	2	B	無	無	沖縄市知花～沖縄市松本	沖縄市知花1-25	68	62	H20	0.6	300	300	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
69	県道16号線	2	-	無	無	沖縄市松本～うるまし市赤道	-	-	-	-	1.1	368	368	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
70	那覇糸満線	4	B	無	無	那覇市字安謝～那覇市古島	那覇市字銘苅269	69	65	H20	1.6	200	149	74.5	46	23.0	0	0.0	5	2.5
71	那覇糸満線	4	-	無	無	那覇市古島～那覇市首里儀保町	-	-	-	-	1.5	583	427	73.2	154	26.4	0	0.0	2	0.3
72	那覇糸満線	4	-	無	無	那覇市首里儀保町～那覇市首里汀良町	-	-	-	-	0.9	460	370	80.4	90	19.6	0	0.0	0	0.0
73	那覇糸満線	4	-	無	無	那覇市首里汀良町～那覇市字真地	-	-	-	-	1.9	491	361	73.5	121	24.6	0	0.0	9	1.8
74	那覇糸満線	4	-	無	無	那覇市字真地～那覇市字上間	-	-	-	-	0.9	201	157	78.1	34	16.9	0	0.0	10	5.0
75	県道43号線	2	C	無	無	那覇市前島～那覇市西	那覇市辻2-3	66	61	H20	1.8	1,204	1,204	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
76	県道39号線	2	C	無	有	那覇市安里～那覇市松尾	那覇市牧志3-2	68	61	H20	1.3	407	407	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
77	那覇糸満線	2	B	無	無	南風原町字照屋～南風原町字兼城	南風原町字兼城689	65	58	H20	0.8	255	255	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
78	那覇糸満線	2	-	無	無	八重瀬町字小城～南風原町字津嘉山	-	-	-	-	2.7	58	50	86.2	0	0.0	2	3.4	6	10.3
79	那覇糸満線	2	B	無	無	糸満市字潮平～八重瀬町字小城	糸満市字阿波根690	68	61	H20	3.0	102	101	99.0	0	0.0	1	1.0	0	0.0
80	一般国道329号	4	B	無	有	中城村字安里～中城村字久場	中城村字当間8	71	63	H19	4.8	764	648	84.8	0	0.0	115	15.1	1	0.1
81	一般国道330号	4	B	無	有	浦添市西原～浦添市西原	浦添市西原4-5	60	54	H19	0.7	384	317	82.6	4	1.0	0	0.0	63	16.4
82	一般国道330号	4	B	無	無	浦添市西原～宜野湾市我如古	浦添市西原3-19	72	68	H18	1.1	278	278	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
83	一般国道329号	4	B	無	有	西原町字我謝～中城村字伊集	西原町字我謝810-23	73	68	H17	3.5	643	428	66.6	0	0.0	0	0.0	215	33.4
84	一般国道331号	4	C	無	有	与那原町字板良敷～与那原町字与那原	与那原町字与那原67-3	71	67	H19	2.6	1,436	1,123	78.2	45	3.1	0	0.0	268	18.7
85	一般国道58号	6	C	無	有	那覇市泊～那覇市字安謝	那覇市安謝2-6	70	67	H19	1.9	780	684	87.7	83	10.6	0	0.0	13	1.7
86	一般国道329号	4	C	無	無	那覇市字仲井真～豊見城市字真玉橋	豊見城市字真玉橋570	66	60	H19	1.7	207	207	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
87	一般国道329号	4	-	無	有	豊見城市字豊見城～那覇市旭町	那覇市壺川2-3	68	64	H19	1.9	22	22	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
88	一般国道331号	4	B	無	有	那覇市字赤嶺～那覇市垣花町	那覇市字安次嶺1-10	69	64	H19	2.2	337	330	97.9	1	0.3	0	0.0	6	1.8
89	一般国道331号	4	C	無	有	那覇市具志～那覇市字赤嶺	那覇市具志3-24	67	61	H19	2.1	127	127	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計											22.5	4,978	4,164	0.8	133	0.0	115	0.0	566	0.1

※1 環境基準類型のあてはめがない地点は「-」とし、Bの基準を当てはめた。

※2 「測定地点の住所」の欄に「-」の記載がある場合の「基準点の等価騒音レベル」の欄については、他の評価区間における測定結果を準用した。

※3 一般国道については道路環境センサスの測定結果を活用した。

## (6)振動規制法に基づく特定施設の届出状況

(平成20年度末現在)

特定施設の種類	名護市	うるま市	沖縄市	宜野湾市	浦添市	那覇市	豊見城市	南城市	糸満市	宮古島市	石垣市	本部町	嘉手納町	北谷町	西原町	南風原町	与那原町	八重瀬町	読谷村	北中城村	中城村	合計
金属加工機械		1	2	1	144	4	11		1													164
空気圧縮機	21	27	43	15	127	438	20						1	1	3	1	2			3		702
破砕機等	12								2						1							15
織機																						0
コンクリートブロックマシン等			1		2		7															10
木材加工機械			2		1		6													2		11
印刷機械					10																	10
ゴム練用又は合成樹脂練用ロール機																						0
合成樹脂用射出成型機																						0
鋳型造成機																						0
特定施設総数	33	28	48	16	284	442	44	0	3	0	0	0	1	1	4	1	2	0	0	5	0	912
特定工場等総数	7	5	17	8	92	42	20	0	3	0	0	0	1	1	1	1	1	0	0	5	0	204

## (7)振動規制法に基づく特定建設作業施設の届出状況

(平成20年度)

特定施設の種類	名護市	うるま市	沖縄市	宜野湾市	浦添市	那覇市	豊見城市	南城市	糸満市	宮古島市	石垣市	本部町	嘉手納町	北谷町	西原町	南風原町	与那原町	八重瀬町	読谷村	北中城村	中城村	合計
くい打機等を使用する作業	16		43	20	16	101	23	0	22					13	3	7	17	3	0	26	8	318
鋼球を使用して破壊する作業																						0
舗装版破砕機を使用する作業				1						4												5
ブレーカーを使用する作業			6	3	2	43	3	2	1	4				2		6	3					75
計	16	0	49	24	18	144	26	2	23	8	0	0	0	15	3	13	20	3	0	26	8	398

## (8)沖縄県公害防止条例に基づく悪臭に係る特定施設の届出状況(その1)

(平成20年度末現在)

		名護市	うるま市	沖縄市	宜野湾市	浦添市	那覇市	豊見城市	南城市	糸満市	宮古島市	石垣市	本部町	金武町	嘉手納町															
事業所数		事業所数	施設数	事業所数	施設数	事業所数	施設数	事業所数	施設数	事業所数	施設数	事業所数	施設数	事業所数	施設数															
特定施設		事業所数	施設数	事業所数	施設数	事業所数	施設数	事業所数	施設数	事業所数	施設数	事業所数	施設数	事業所数	施設数															
1	動物質飼料、肥料(化学肥料を除く。)又はにかわの製造用に供する施設	(1)原料置場	2	4				1		1	14		3		1															
		(2)蒸解煮ふつ施設		1						1																				
		(3)乾燥施設	3	6			1			5	15		3	1	1															
		(4)粉碎施設		2							1				1															
2	動物(鶏を除く。)の飼養の用に供する施設	(1)飼養施設	48	65	12	4	2	27	46	46	48	13	33	11	10	3														
		(2)飼料調理施設(加熱処理をするものに限る。)	48	23	65	35	13	7	4	3	2	1	27	26	46	34	46	17	46	13	13	4	33	8	11	5	10	2	3	1
		(3)ふん尿処理施設	44	64	13	4	2	8	46	46	37	13	33	10	10	2	2													
3	鶏舎(30日未満の育成鶏を除く。)	5	5	4	5	3	3	1	1	1	1	5	5	3	3	14	14	3	3		5	5	4	4	2	2				
4	鶏ふんの乾燥の用に供する施設	(1)生ふん置場	5	1	2			1	1	3	1		5																	
		(2)生ふん処理施設	5	5	2	3	1	1	1	3	3	6	3	4	3	2														
5	原動機を使用する吹付塗装施設		3	4																										
6	紙製品の製造の用に供する施設																													
7	原皮のなめしの用に供する施設																													
8	動植物油の製造の用に供する施設							2	3																					
9	廃棄物の処理の用に供する施設又は設備	(1)焼却施設又は焼却設備	2	2	4	5	7		1	3		3	3	10	1															
		(2)乾燥施設又は乾燥設備												0																
10	し尿処理施設(浄化槽を除く。)		2	2		1	1			2	2	2	2																	
11	下水道終末処理場																													
12	死亡獣畜取扱場の用に供する施設	1	1																											
13	ガラス繊維強化プラスチック製品の製造又は加工の用に供する施設		2	2		1	1			1	1																			
計		64	132	87	194	24	45	7	14	7	12	40	76	52	132	74	139	72	129	22	42	46	92	19	35	15	29	3	6	

(8)沖縄県公害防止条例に基づく悪臭に係る特定施設の届出状況(その2)

(平成20年度末現在)

		北 谷 町	西 原 町	南 風 原 町	与 那 原 町	八 重 瀬 町	久 米 島 町	竹 富 町	与 那 国 町	伊 平 屋 村	伊 是 名 村	伊 江 村	国 頭 村	大 宜 味 村	東 村													
事業所数		事業所数	事業所数	事業所数	事業所数	事業所数	事業所数	事業所数	事業所数	事業所数	事業所数	事業所数	事業所数	事業所数	事業所数													
特定施設		施設数	施設数	施設数	施設数	施設数	施設数	施設数	施設数	施設数	施設数	施設数	施設数	施設数	施設数													
1	動物質飼料、肥料(化学肥料を除く。)又はにかわの製造用に供する施設																											
	(1)原料置場				1		3	1																				
	(2)蒸解煮ふつ施設			1		5		1																				
	(3)乾燥施設			1		5		1																				
	(4)粉碎施設			1																								
2	動物(鶏を除く。)の飼養の用に供する施設																											
	(1)飼養施設			9	16		33	4			1	2	11	13	10													
	(2)飼料調理施設(加熱処理をするものに限る。)		9	2	16	8	32	16	4		1	2	11	5	13													
	(3)ふん尿処理施設		9		16		32	4			1	2	11	13	10													
3	鶏舎(30日未満の育成鶏を除く。)	3	3	4	4	1	1	2	2	1	1			3	3	1	1											
4	鶏ふんの乾燥の用に供する施設																											
	(1)生ふん置場	3		3			2	1						3														
	(2)生ふん処理施設	3		3			2	1						3														
5	原動機を使用する吹付塗装施設			3	5																							
6	紙製品の製造の用に供する施設																											
7	原皮のなめしの用に供する施設																											
8	動植物油の製造の用に供する施設																											
9	廃棄物の処理の用に供する施設又は設備																											
	(1)焼却施設又は焼却設備		6	6	2	4		1	2	1	1	1	1															
	(2)乾燥施設又は乾燥設備										1	1	1															
10	し尿処理施設(浄化槽を除く。)																											
11	下水道終末処理場			1	1																							
12	死亡獣畜取扱場の用に供する施設																											
13	ガラス繊維強化プラスチック製品の製造又は加工の用に供する施設			1	1																							
計		6	6	27	40	20	48	4	4	40	93	7	12	0	0	0	0	0	2	3	3	5	12	28	19	34	11	26



## 6 土壌・地下水・地盤関係

(1) 平成20年度 地下水質測定結果 (概況調査)

市 町 村 名	糸満市		南城市		南風原町		八重瀬町		与那原町		南大東村		北大東村	
	区	名	玉城字前川	知念字志喜屋	大名	高良	具志頭	与那原	在所	中野	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
採水		H20.8.25	H20.8.26	H20.8.27										
pH		7.2	7.5	7.7	7.6	6.9	7.2	7.3	7.1	6.8				
カドミウム	環境基準値	0.01以下	不検出	不検出	不検出									
全シアン	検出されないこと	不検出	不検出	不検出										
鉛	0.01以下	不検出	不検出	不検出										
六価クロム	0.05以下	不検出	不検出	不検出										
砒素	0.01以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.004	不検出	不検出	0.003	不検出	不検出	
総水銀	0.0005以下	不検出	不検出	不検出										
アルキル水銀	検出されないこと	不検出	不検出	不検出										
PCB	検出されないこと	不検出	不検出	不検出										
トリクロロエチレン(TCE)	0.03以下	不検出	不検出	不検出										
テトラクロロエチレン(PCE)	0.01以下	不検出	不検出	不検出										
四塩化炭素	0.002以下	不検出	不検出	不検出										
ジクロロメタン	0.02以下	不検出	不検出	不検出										
1,2-ジクロロエタン	0.004以下	不検出	不検出	不検出										
1,1,1-トリクロロエタン(MC)	1以下	不検出	不検出	不検出										
1,1,2-トリクロロエタン	0.006以下	不検出	不検出	不検出										
1,1-ジクロロエチレン	0.02以下	不検出	不検出	不検出										
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.04以下	不検出	不検出	不検出										
チラナム	0.006以下	不検出	不検出	不検出										
シマジン	0.003以下	不検出	不検出	不検出										
1,3-ジクロロプロパン	0.002以下	不検出	不検出	不検出										
チオベンカルブ	0.02以下	不検出	不検出	不検出										
ベンゼン	0.01以下	不検出	不検出	不検出										
セレン	0.01以下	不検出	不検出	不検出										
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10以下	4.9	4.50	5.4	0.19	1.2	10	0.78	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	
ふっ素	0.8以下	不検出	不検出	不検出	0.19	不検出	不検出	0.40	0.05	0.24	不検出	不検出	不検出	
ほう素	1以下	0.055	0.064	0.054	0.14	0.07	0.041	0.097	0.42	0.18	不検出	不検出	不検出	

(単位:mg/L)

## (2) 地下水定期モニタリング調査結果

(単位：mg/L)

市町村	字 井戸番号	種別	ひ 砒素	総水銀	アルキル水銀	トリ クロロエチレン	テトラクロ ロエチレン	1, 1, 1-トリ クロロエタン	1, 2- ジクロロエタン	硝酸性窒素 及び 亜硝酸性窒素
			環境 基準	0.01 以下	0.0005 以下	検出され ないこと	0.03以下	0.01以下	1以下	0.04以下
豊見城市	高嶺 010100	湧水	—	—	—	0.0005	0.0011	不検出	—	—
浦添市	屋富祖 000100	井戸	0.084	—	—	—	—	—	—	—
	当山 000100	井戸	0.029	—	—	—	—	—	—	—
沖縄市	登川 000200	井戸	—	不検出	不検出	—	—	—	—	—
	登川 000400	井戸	—	不検出	不検出	—	—	—	—	—
	知花 000400	井戸	—	不検出	不検出	—	—	—	—	—
	与儀 000100	井戸	0.030	—	—	—	—	—	—	—
西原町	小那覇 000100	井戸	—	—	—	—	—	—	不検出	—
北谷町	桑江 000100	井戸	0.014	—	—	—	—	—	—	—
嘉手納町	屋良 010100	湧水	—	—	—	0.015	0.0016	不検出	—	—
うるま市	石川 000200	井戸	0.016	—	—	—	—	—	—	—
	石川嘉手納 000100	井戸	—	不検出	不検出	—	—	—	—	—
	与那城屋慶名 000100	井戸	0.023	—	—	—	—	—	—	—
恩納村	谷茶 000300	井戸	0.006	—	—	—	—	—	—	—
宮古島市	伊良部仲地 000100	井戸	—	—	—	—	—	—	—	8.3
石垣市	登野城 000100	井戸	—	—	—	不検出	0.0018	不検出	—	—